

第5章 若年者調査

第5章 若年者調査

1 対象者についての基本的事項

(1) 記入者

ア 記入者

表 4-1 記入者

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	宛名の本人	家族	その他	無回答
1392 100.0	1339 96.2	49 3.5	- -	5 0.3

アンケートの回答者は、「宛名の本人」96.2%に対し、「家族」3.5%となっている。

イ 本人が回答できない理由

表 4-2 本人が回答できない理由

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	病院に入院中	病気やけが	障害(身体障害、知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
49 100.0	2 3.5	3 6.2	5 10.5	3 6.9	5 10.4	26 53.8	4 8.8

本人が回答できない理由としては、「障害(身体障害, 知的障害など)」が10.5%, 「答えたくない」が10.4%などとなっている。

(2) 年齢別・性別構成

図 4-1 年齢構成

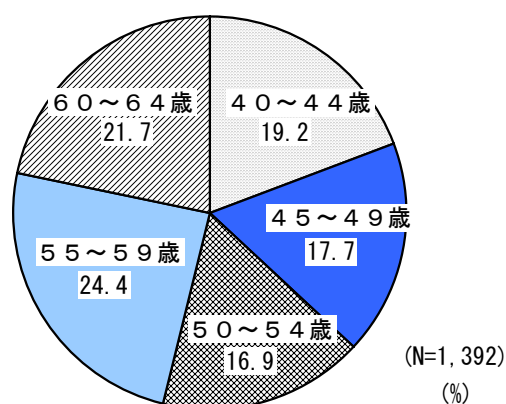
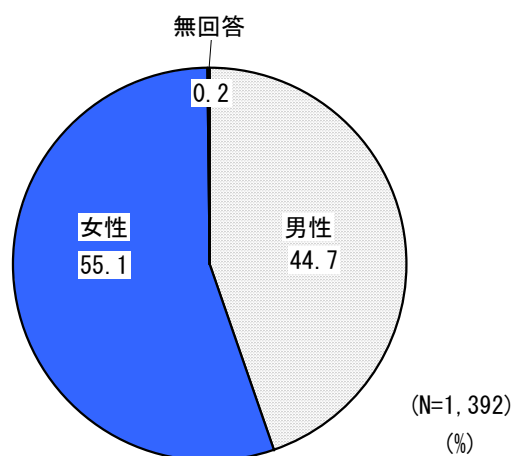


図 4-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「55～59歳」が24.4%と最も多く、次いで「60～64歳」21.7%となっている。

性別構成については、男性44.7%、女性55.1%と女性の方が多くなっている。

(3) 居住地域

ア 居住地区

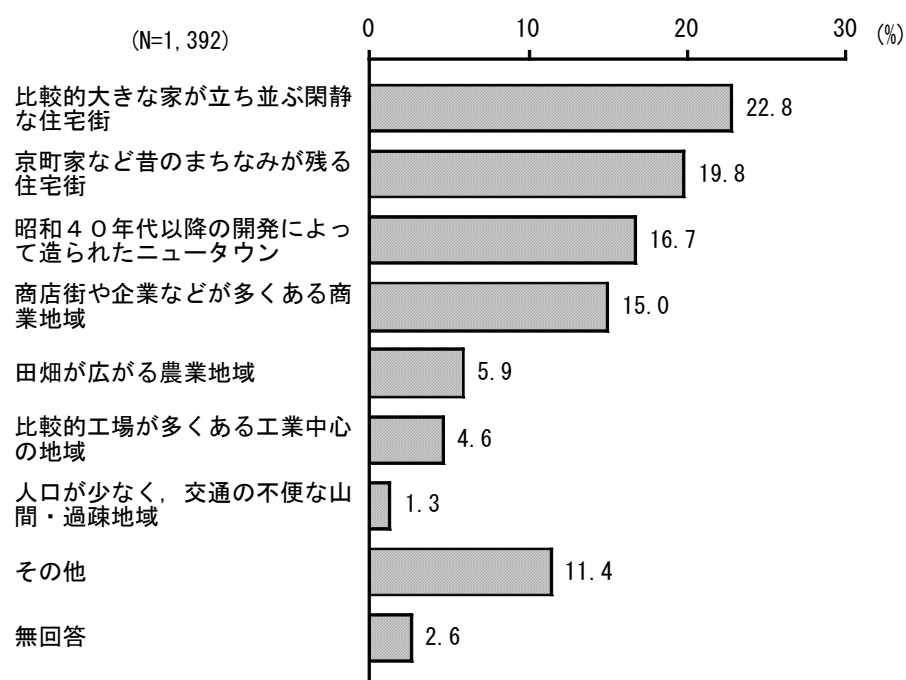
表 4-3 居住地区

調査数 (N)	(上段：件 下段：%)														
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
1392	116	74	151	90	34	136	67	92	197	141	20	238	17	19	-
100.0	8.3	5.3	10.9	6.5	2.4	9.8	4.8	6.6	14.2	10.1	1.4	17.1	1.2	1.4	-

居住地区をみると、「伏見区」が17.1%と最も多く、次いで「右京区」「左京区」「西京区」となっている。

イ 地域の特性

図 4-3 地域の特性

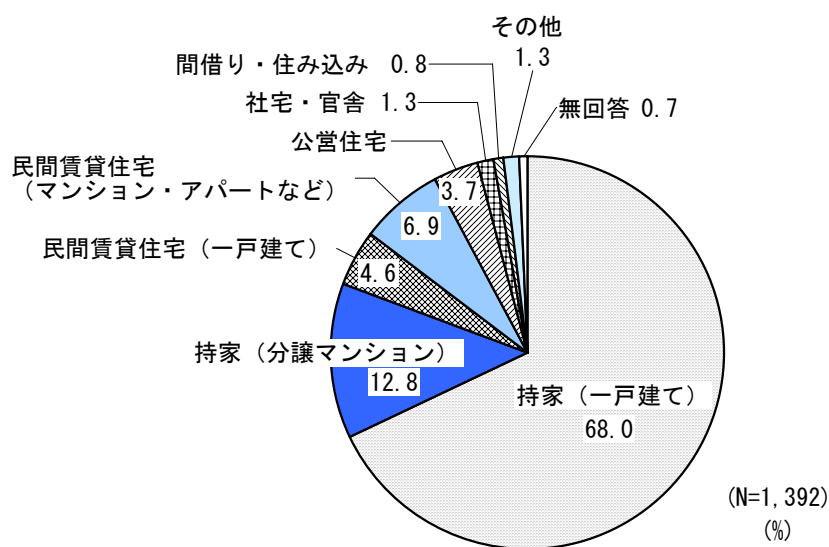


住まいの地域については、「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」が22.8%で最も多く、次いで「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」(19.8%)、「昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン」(16.7%)、「商店街や企業などが多くある商業地域」(15.0%)の順となっている。

(4) 住居形態

ア 住まいの形態

図 4-4 住まいの形態



住まいの形態をみると、「持家（一戸建て）」が68.0%を占め、そのほかは「持家（分譲マンション）」が12.8%、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が6.9%などとなっている。

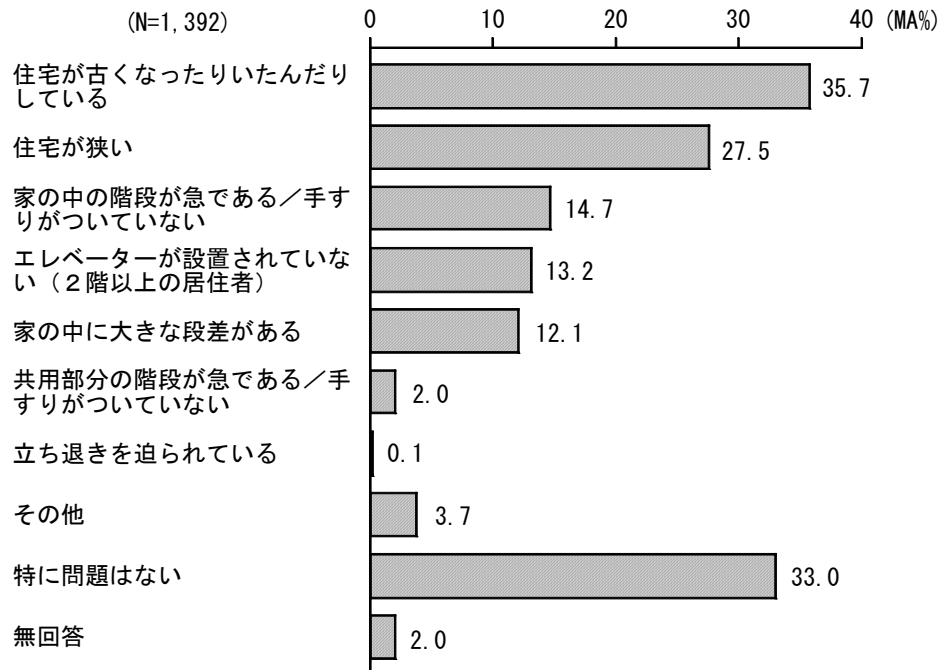
表 4-4 居住地区別 住まいの形態

	調査数 (N)	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借り・住み込み	その他	無回答
北区	116	76.5	6.0	5.0	8.7	-	0.8	-	3.0	-
上京区	74	70.1	15.4	5.1	4.2	1.2	-	-	4.0	-
左京区	151	68.3	9.3	6.2	8.0	1.2	3.1	2.5	0.9	0.6
中京区	90	55.6	29.1	8.2	7.1	-	-	-	-	-
東山区	34	62.9	14.0	11.4	6.5	-	2.7	2.5	-	-
山科区	136	74.1	11.9	3.1	5.6	1.9	-	1.5	1.0	0.9
下京区	67	68.6	15.1	8.1	-	-	1.3	-	5.5	1.3
南区	92	63.0	18.3	5.5	5.5	3.2	2.3	-	0.9	1.3
右京区	197	69.4	7.4	4.9	12.0	2.1	1.5	1.1	0.4	1.1
西京区	141	76.1	6.2	1.2	5.4	7.7	0.9	0.6	1.2	0.6
洛西支所	20	47.0	26.0	-	6.1	21.0	-	-	-	-
伏見区	238	63.2	16.0	2.9	6.2	7.8	1.6	0.5	0.9	0.7
深草支所	17	61.0	10.4	7.7	10.3	5.1	-	-	-	5.4
醍醐支所	19	63.7	13.5	-	-	22.8	-	-	-	-
合計	1392	68.0	12.8	4.6	6.9	3.7	1.3	0.8	1.3	0.7

住まいの形態を居住地区別にみると、「持家（一戸建て）」は北区が76.5%で最も多く、その他西京区、山科区、上京区で70%台となっている。

イ 住まいの状況

図 4-5 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が35.7%と最も多く、次いで「住宅が狭い」(27.5%)、「家の中の階段が急である／手すりがついていない」(14.7%)となっている。

表 4-5 住まいの形態別 住まいの状況

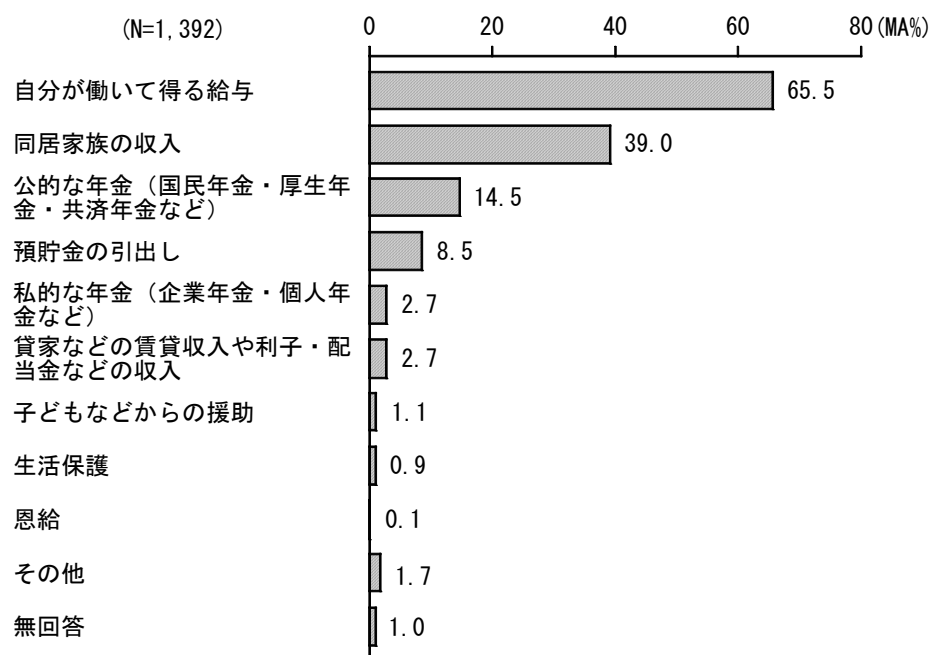
	調査数 (N)	住宅が古くなったりいたんだりしている	住宅が狭い	共用部分の階段が急である／手すりがついていない	エレベーターが設置されていない（2階以上の居住者）	家の中に大きな段差がある	共用部分の階段が急である／手すりがついていない	立ち退きを迫られている	その他	特に問題はない	無回答
持家（一戸建て）	946	35.0	25.6	18.3	12.6	12.8	1.0	-	3.7	33.5	1.7
持家（分譲マンション）	178	19.0	29.0	0.5	7.2	7.1	4.5	-	3.8	51.9	1.0
民間賃貸住宅（一戸建て）	64	80.2	31.1	29.6	3.3	27.1	1.3	1.3	6.5	9.8	1.4
民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	96	36.3	35.8	4.5	25.1	8.1	5.9	0.9	0.9	20.9	0.9
公営住宅	51	40.8	34.2	1.6	33.2	4.0	5.0	-	3.4	23.0	-
社宅・官舎	18	33.6	39.1	-	31.4	5.1	7.3	-	6.8	31.9	-
間借り・住み込み	11	92.3	33.6	27.4	-	31.3	-	-	-	7.7	-
その他	18	39.3	36.7	17.8	16.2	17.9	-	-	4.7	30.7	-
無回答	10	8.7	-	-	-	-	-	-	-	8.9	82.4
合計	1392	35.7	27.5	14.7	13.2	12.1	2.0	0.1	3.7	33.0	2.0

住まいの状況について住まいの形態別にみると、持家（分譲マンション）や社宅・官舎は「住宅が狭い」が最も多く、それ以外の住まいの形態では「住宅が古くなったりいたんだりしている」が最も多くなっている。特に、民間賃貸住宅（一戸建て）と間借り・住み込みでは80%以上と高くなっている。

(5) 収入

ア 主な収入源

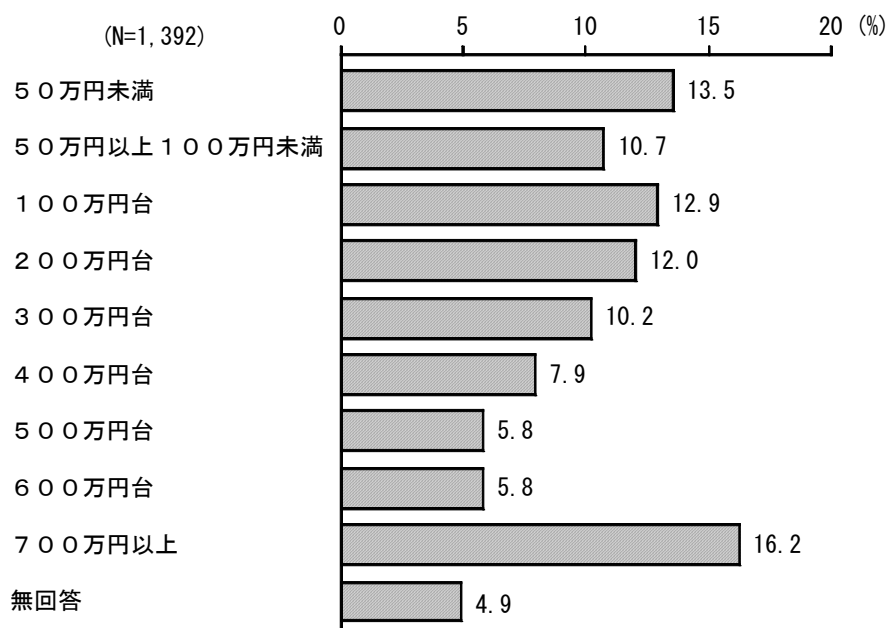
図 4-6 主な収入源



主な収入源については、「自分が働いて得る給与」が65.5%で最も多く、次いで「同居家族の収入」が39.0%、「公的な年金（国民年金・厚生年金・共済年金など）」が14.5%となっている。

イ 本人の年収

図 4-7 本人の年収

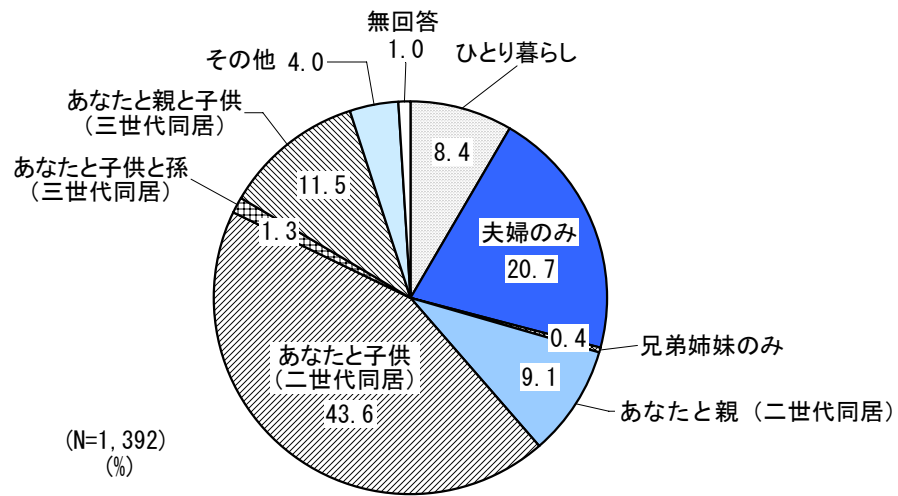


調査対象者本人の年収は、「700万円以上」（16.2%）、「50万円未満」（13.5%）が多くなっている。

(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

図 4-8 世帯構成

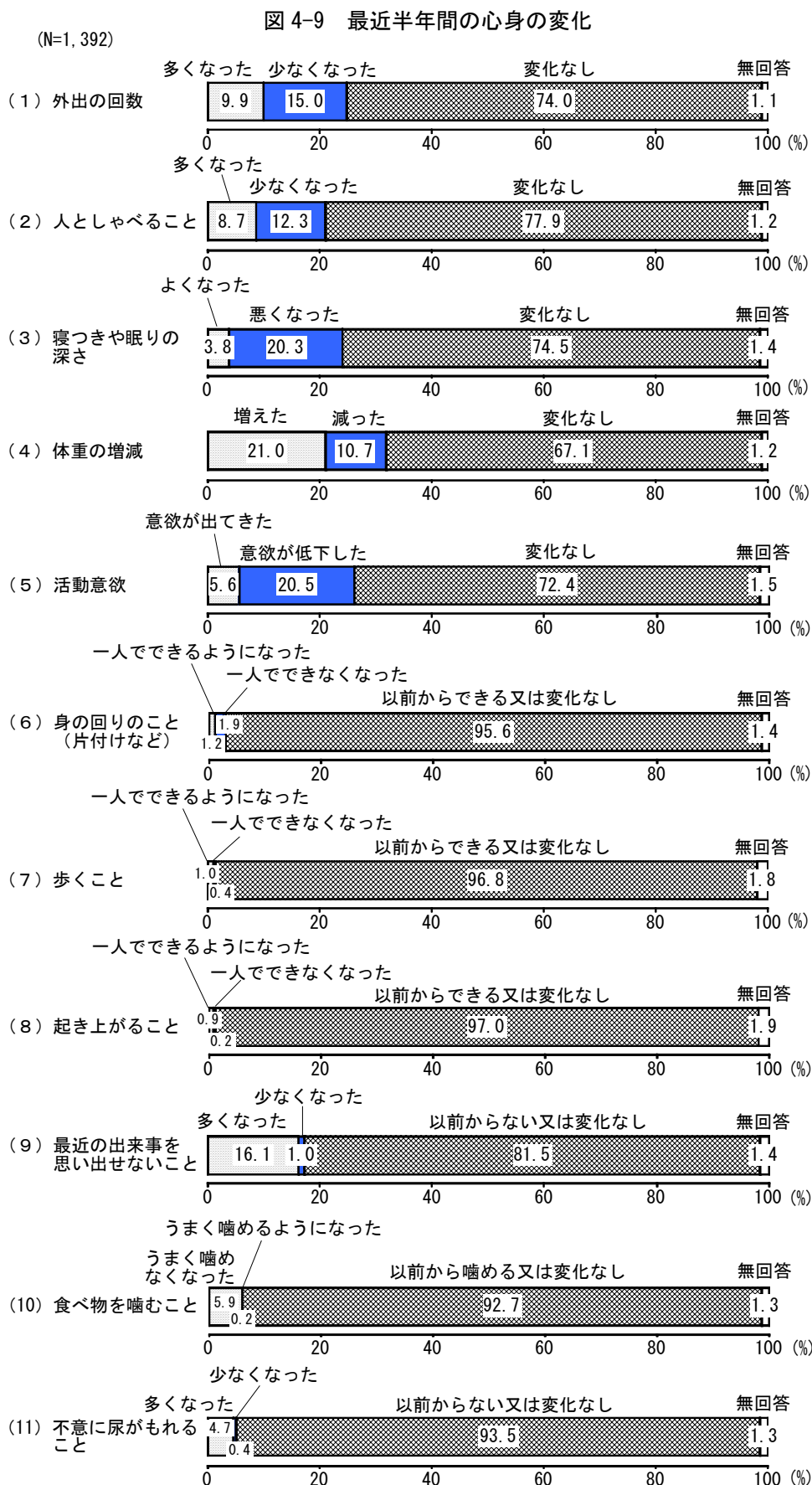


世帯構成は「あなたと子供 (二世世代同居)」が43.6%と多く、次いで「夫婦のみ」(20.7%)、「あなたと親と子供 (三世世代同居)」(11.5%)、「あなたと親 (二世世代同居)」(9.1%)、「ひとり暮らし」(8.4%)の順となっている。

2 身体・生活の状況について

(1) 最近半年間の心身の変化

ア 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身状態に変化が見られたかたずねたところ、いずれの項目でも「変化なし」が60～90%台を占めるが、『(3) 寝つきや眠りの深さ』『(5) 活動意欲』の両項目では、悪化もしくは低下を表す回答が20%強と多くなっている。また、『(4) 体重の増減』については、「増えた」が21.0%、「減った」が10.7%となっている。

表 4-6 性・年齢別 最近半年間の心身の変化①

(1) 外出の回数						(2) 人としゃべること				(3) 寝つきや眠りの深さ (%)			
	調査数 (N)	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答	よくなった	悪くなった	変化なし	無回答
男性 (全体)	623	7.3	15.6	76.3	0.8	5.7	12.6	80.5	1.1	3.8	19.3	75.7	1.2
男性 40～44歳	125	5.2	15.5	78.4	1.0	7.2	8.2	83.5	1.0	3.1	14.4	81.4	1.0
45～49歳	102	10.2	18.6	71.2	-	6.8	16.1	76.3	0.8	2.5	21.2	76.3	-
50～54歳	107	10.2	10.2	79.7	-	6.8	5.1	88.1	-	4.2	16.1	79.7	-
55～59歳	148	5.7	17.1	76.4	0.8	3.3	14.6	80.5	1.6	1.6	20.3	77.2	0.8
60～64歳	141	6.6	16.3	75.3	1.8	5.4	17.5	75.3	1.8	7.2	23.5	65.7	3.6
女性 (全体)	767	12.1	14.4	72.2	1.3	11.1	12.0	75.7	1.2	3.8	21.1	73.5	1.6
女性 40～44歳	142	11.8	10.9	77.3	-	10.9	10.0	79.1	-	10.0	12.7	77.3	-
45～49歳	143	9.0	12.7	77.7	0.6	9.6	12.0	78.3	-	1.8	18.1	80.1	-
50～54歳	129	12.0	12.0	73.2	2.8	9.9	13.4	73.9	2.8	4.2	21.8	71.1	2.8
55～59歳	192	15.7	19.5	63.5	1.3	13.2	15.1	71.1	0.6	1.9	28.3	67.9	1.9
60～64歳	161	11.1	14.7	72.1	2.1	11.1	8.9	77.4	2.6	2.1	22.1	72.6	3.2
無回答	3	-	33.0	67.0	-	-	33.0	67.0	-	-	33.0	67.0	-
合計	1392	9.9	15.0	74.0	1.1	8.7	12.3	77.9	1.2	3.8	20.3	74.5	1.4

(4) 体重の増減						(5) 活動意欲				(6) 身の回りのこと (片付けなど) (%)			
	調査数 (N)	増えた	減った	変化なし	無回答	意欲が出てきた	意欲が低下した	変化なし	無回答	一人ですることができるようになった	一人ですることができなくなった	以前から変化するようになった	無回答
男性 (全体)	623	19.7	12.0	67.3	0.9	5.0	20.6	73.7	0.8	1.3	1.8	95.9	0.9
男性 40～44歳	125	17.5	14.4	67.0	1.0	6.2	16.5	76.3	1.0	1.0	2.1	95.9	1.0
45～49歳	102	28.0	9.3	62.7	-	6.8	23.7	69.5	-	-	1.7	98.3	-
50～54歳	107	20.3	8.5	71.2	-	5.1	15.3	79.7	-	0.8	0.8	98.3	-
55～59歳	148	14.6	12.2	72.4	0.8	3.3	25.2	70.7	0.8	2.4	2.4	94.3	0.8
60～64歳	141	20.5	14.5	62.7	2.4	4.2	21.1	72.9	1.8	1.8	1.8	94.0	2.4
女性 (全体)	767	22.1	9.6	66.9	1.3	6.1	20.5	71.3	2.1	1.1	2.0	95.4	1.6
女性 40～44歳	142	20.0	6.4	73.6	-	5.5	12.7	81.8	-	1.8	-	98.2	-
45～49歳	143	27.7	10.2	62.0	-	3.6	22.9	71.7	1.8	0.6	3.6	95.2	0.6
50～54歳	129	19.0	8.5	69.7	2.8	6.3	22.5	66.2	4.9	0.7	2.1	93.0	4.2
55～59歳	192	23.9	9.4	65.4	1.3	6.9	22.6	68.6	1.9	0.6	2.5	95.6	1.3
60～64歳	161	19.5	13.2	64.7	2.6	7.9	21.1	68.9	2.1	1.6	1.6	94.7	2.1
無回答	3	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	67.0	33.0
合計	1392	21.0	10.7	67.1	1.2	5.6	20.5	72.4	1.5	1.2	1.9	95.6	1.4

表 4-6 性・年齢別 最近半年間の心身の変化②

(7) 歩くこと

(8) 起き上がること

(9) 最近の出来事を思い出せないこと

(%)

	調査数 (N)	一人ですることができるようになった	一人ですできなくなった	以前からできる又は変化なし	無回答
男性 (全体)	623	0.8	0.6	96.7	1.9
男性 40～44歳	125	1.0	1.0	94.8	3.1
45～49歳	102	0.8	-	99.2	-
50～54歳	107	0.8	-	99.2	-
55～59歳	148	-	-	99.2	0.8
60～64歳	141	1.2	1.8	92.2	4.8
女性 (全体)	767	1.2	0.2	96.8	1.8
女性 40～44歳	142	1.8	-	98.2	-
45～49歳	143	0.6	0.6	98.2	0.6
50～54歳	129	1.4	0.7	93.0	4.9
55～59歳	192	0.6	-	98.1	1.3
60～64歳	161	1.6	-	95.8	2.6
無回答	3	-	-	100.0	-
合計	1392	1.0	0.4	96.8	1.8

	一人ですできるようになった	一人ですできなくなった	以前からできる又は変化なし	無回答
男性 (全体)	0.6	0.2	97.9	1.2
男性 40～44歳	1.0	1.0	96.9	1.0
45～49歳	-	-	98.3	1.7
50～54歳	-	-	99.2	0.8
55～59歳	-	-	99.2	0.8
60～64歳	1.8	-	96.4	1.8
女性 (全体)	1.2	0.1	96.2	2.5
女性 40～44歳	1.8	-	98.2	-
45～49歳	0.6	-	98.8	0.6
50～54歳	1.4	-	94.4	4.2
55～59歳	1.3	-	94.3	4.4
60～64歳	1.1	0.5	95.8	2.6
無回答	-	-	100.0	-
合計	0.9	0.2	97.0	1.9

	多くなった	少なくなった	以前からない又は変化なし	無回答
男性 (全体)	17.2	0.6	81.3	0.9
男性 40～44歳	14.4	1.0	83.5	1.0
45～49歳	22.0	-	78.0	-
50～54歳	11.0	-	89.0	-
55～59歳	20.3	-	78.9	0.8
60～64歳	17.5	1.8	78.3	2.4
女性 (全体)	15.2	1.2	81.7	1.8
女性 40～44歳	18.2	-	81.8	-
45～49歳	12.0	1.2	86.1	0.6
50～54歳	18.3	-	78.2	3.5
55～59歳	15.1	1.9	81.8	1.3
60～64歳	13.2	2.6	80.5	3.7
無回答	-	33.0	67.0	-
合計	16.1	1.0	81.5	1.4

(10) 食べ物を嘔むこと

(11) 不意に尿がもれること (%)

	調査数 (N)	うまく嘔めなくなった	うまく嘔めるようになった	以前から嘔める又は変化なし	無回答
男性 (全体)	623	6.0	0.3	92.9	0.8
男性 40～44歳	125	3.1	-	95.9	1.0
45～49歳	102	2.5	-	97.5	-
50～54歳	107	4.2	-	95.8	-
55～59歳	148	8.1	-	91.1	0.8
60～64歳	141	10.2	1.2	86.7	1.8
女性 (全体)	767	5.7	0.1	92.5	1.6
女性 40～44歳	142	2.7	-	96.4	0.9
45～49歳	143	2.4	-	97.0	0.6
50～54歳	129	4.9	0.7	90.8	3.5
55～59歳	192	8.2	-	90.6	1.3
60～64歳	161	8.9	-	88.9	2.1
無回答	3	33.0	-	67.0	-
合計	1392	5.9	0.2	92.7	1.3

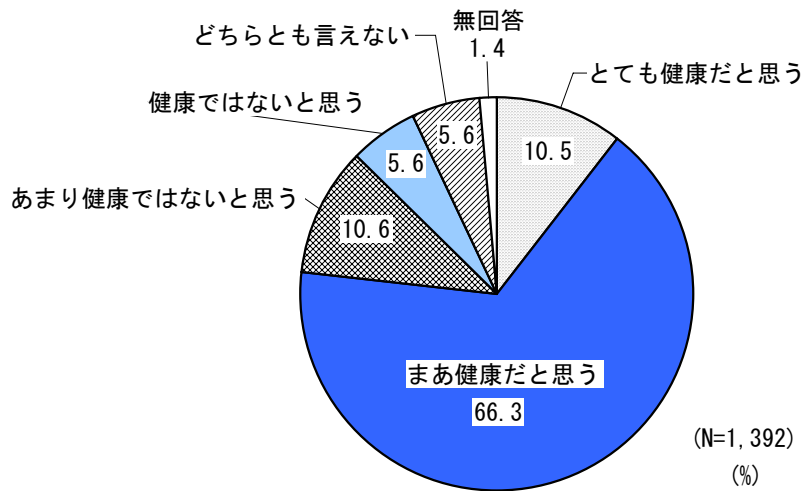
	多くなった	少なくなった	以前からない又は変化なし	無回答
男性 (全体)	4.1	0.5	94.5	0.9
男性 40～44歳	3.1	-	95.9	1.0
45～49歳	3.4	-	96.6	-
50～54歳	0.8	-	99.2	-
55～59歳	4.1	0.8	94.3	0.8
60～64歳	7.8	1.2	88.6	2.4
女性 (全体)	5.3	0.4	92.7	1.6
女性 40～44歳	2.7	-	97.3	-
45～49歳	5.4	-	94.0	0.6
50～54歳	4.9	-	91.5	3.5
55～59歳	4.4	1.3	93.1	1.3
60～64歳	8.9	0.5	87.9	2.6
無回答	-	-	100.0	-
合計	4.7	0.4	93.5	1.3

性別にみると、男性全体と女性全体を比べると、『(1) 外出の回数』『(2) 人としゃべること』などの項目について、女性の方が男性より、改善を表す回答が多くみられる。

性・年齢別にみると、前述の2項目については、女性の55～59歳で改善傾向が強くみられる。一方、男性では、『(4) 体重の増減』では45～49歳で、『(5) 活動意欲』では55～59歳で、悪化もしくは低下を表す回答が多くなっている。

イ 日ごろの健康状態

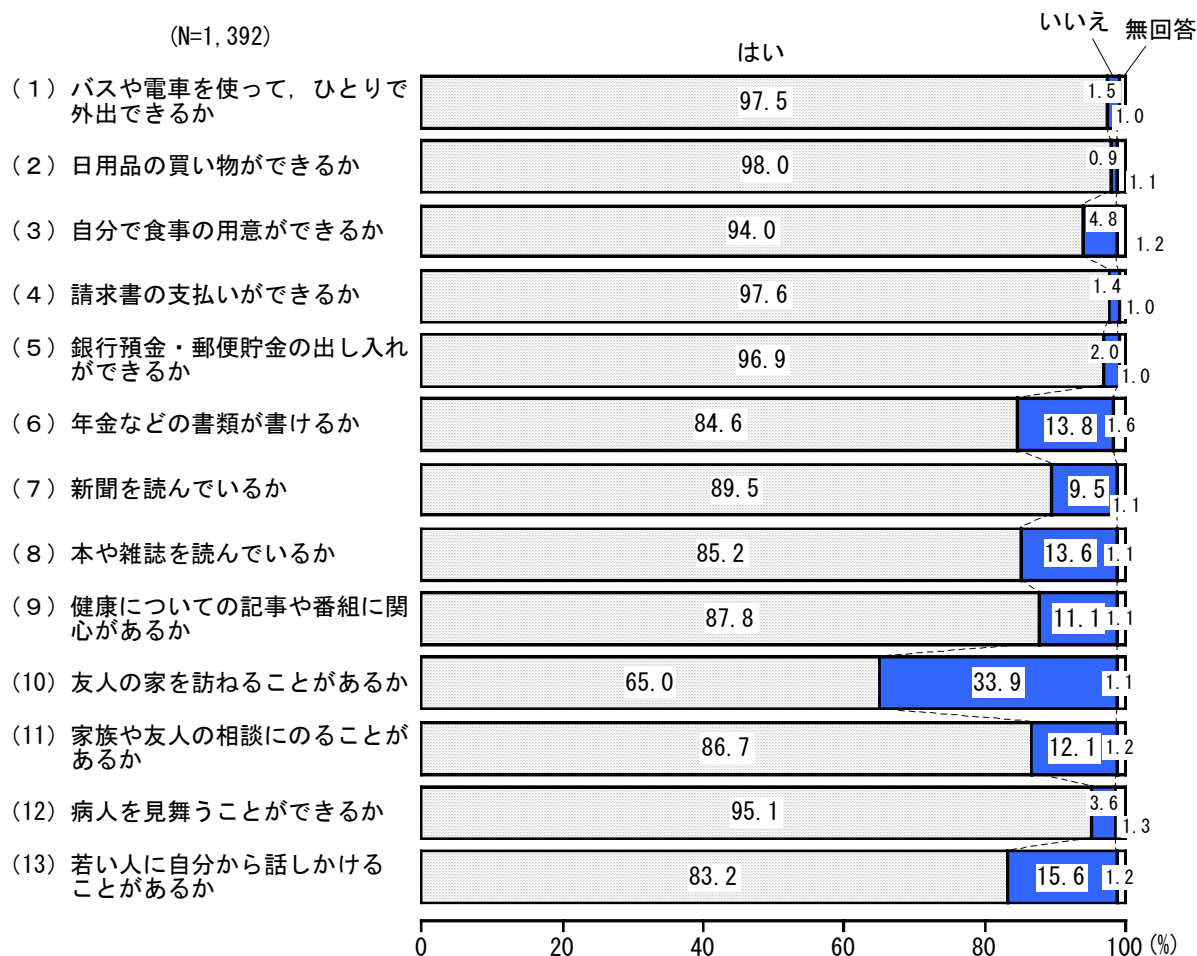
図 4-10 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う (計)』(「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合) が76.8%を占め、『健康ではないと思う (計)』(「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合) は16.2%となっている。

(2) 老研式活動能力指標（高次ADL）

図 4-11 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中12項目について「はい」が80%以上を占めるが、『(10) 友人の家を訪ねることがある』のみ65.0%と低くなっている。老研式活動能力指標総合点の平均は11.7点となっている。この点数は老研式活動能力指標の13項目について「はい」（できる）との回答に対し1点与え、その累積値（最高13点満点）により生活機能の自立の程度をみるもので、点数が高いほど自立度も高いことを意味する。

※老研式活動能力指標（高次ADL）とは、高齢者が、どのくらい生活機能の自立度（地域で、ひとりで日常生活を営むことができる能力）を維持しているかを測る指標として、東京都老人総合研究所が開発したものです。

表 4-7 性・年齢別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	(%)					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平 均 点
男性（全体）	623	0.8	1.7	10.6	86.2	0.7	11.4
男性 40～44歳	125	1.0	-	13.4	84.5	1.0	11.5
45～49歳	102	-	3.4	5.9	90.7	-	11.5
50～54歳	107	0.8	0.8	4.2	93.2	0.8	11.9
55～59歳	148	0.8	2.4	14.6	81.3	0.8	11.1
60～64歳	141	1.2	1.8	12.0	84.3	0.6	11.3
女性（全体）	767	0.1	0.8	6.7	91.1	1.2	12.0
女性 40～44歳	142	-	1.8	5.5	91.8	0.9	12.1
45～49歳	143	0.6	1.2	4.8	92.2	1.2	12.0
50～54歳	129	-	-	8.5	90.8	0.7	12.0
55～59歳	192	-	0.6	6.9	90.6	1.9	11.9
60～64歳	161	-	0.5	7.9	90.5	1.1	11.8
無回答	3	-	-	-	100.0	-	12.0
合計	1392	0.4	1.2	8.4	88.9	1.0	11.7

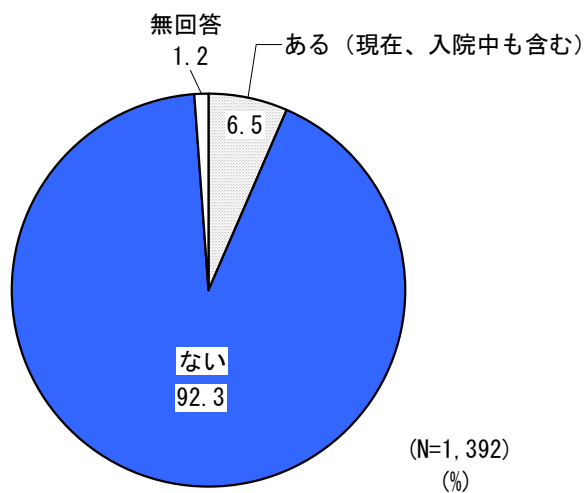
老研式活動能力指標総合点の男女別の平均は、男性全体11.4点、女性全体12.0点となっている。

性・年齢別に分布をみると、「10点以上」の割合は、50～54歳以外の年齢層において女性の方が男性よりも高く、男性では45～49歳、50～54歳、女性についてはすべての年齢層で90%以上を占めている。総合点の平均は、男性はいずれの年齢層も11点台、女性は54歳まで12点台で、55歳以上では11点台となっている。

(3)入院経験と現在治療を受けている病気

ア この1年間に入院した経験

図 4-12 この1年間に入院した経験



この1年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め6.5%となっている。

イ 現在治療を受けている病気

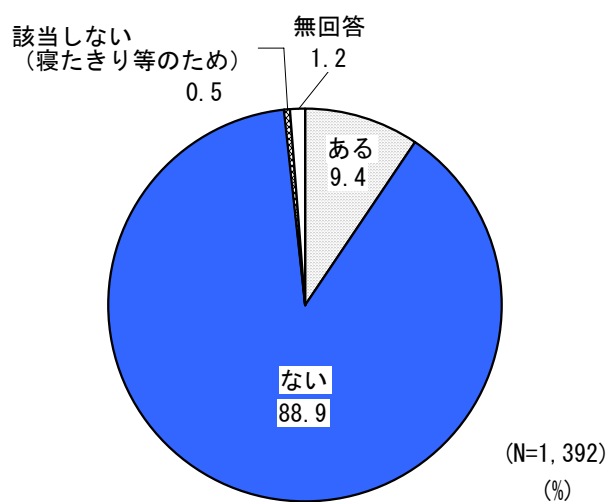
表 4-8 現在治療を受けている病気

調査数 (N)	(上段：件 下段：MA%)																		
	高血圧症	歯の病気	腰痛、膝痛などの病気	高脂血症	糖尿病	眼の病気	消化器系疾患	心臓病（心筋梗塞、狭心症など）	精神疾患	耳、鼻の病気	呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）	肝臓病	腎臓病	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）	泌尿器系疾患	結核	その他	特にない	無回答
1392	208	147	144	97	88	78	52	48	37	35	27	20	14	13	12	-	137	659	62
100.0	15.0	10.6	10.3	7.0	6.3	5.6	3.7	3.5	2.7	2.5	1.9	1.4	1.0	0.9	0.8	-	9.9	47.4	4.5

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」15.0%、「歯の病気」10.6%、「腰痛、膝痛などの病気」10.3%などとなっている。

(4) 転倒経験

図 4-13 この1年間に転倒してケガをした経験



この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、9.4%となっている。

表 4-9 性・年齢別 この1年間に転倒してケガをした経験

	調査数 (N)	ある	ない	等該当しない (寝たきり等のため)	無回答
男性 (全体)	623	8.5	89.8	0.7	1.1
男性 40～44歳	125	6.2	90.7	1.0	2.1
45～49歳	102	9.3	89.0	1.7	-
50～54歳	107	5.9	93.2	-	0.8
55～59歳	148	12.2	85.4	0.8	1.6
60～64歳	141	7.8	91.6	-	0.6
女性 (全体)	767	10.2	88.2	0.4	1.2
女性 40～44歳	142	5.5	93.6	-	0.9
45～49歳	143	7.2	91.0	0.6	1.2
50～54歳	129	9.2	90.1	-	0.7
55～59歳	192	13.8	83.6	0.6	1.9
60～64歳	161	13.7	84.7	0.5	1.1
無回答	3	-	67.0	-	33.0
合計	1392	9.4	88.9	0.5	1.2

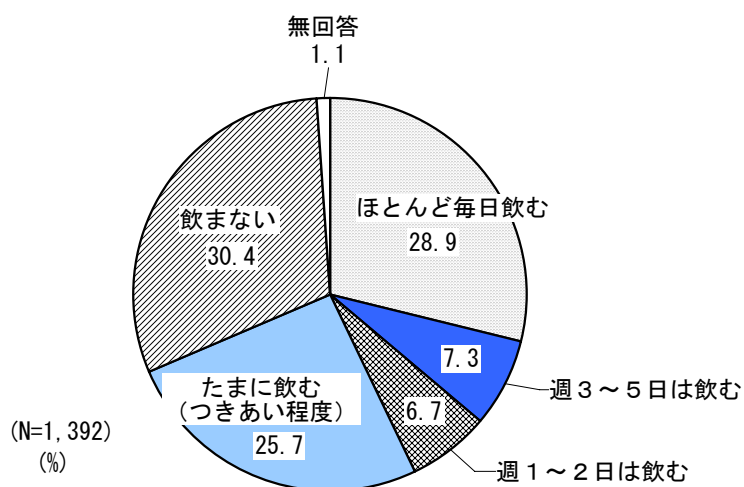
(%)

性・年齢別にみると、この1年間に転倒してケガをしたことがある人は男性より女性のほうが1.7ポイント高く、男性では55～59歳、女性では55～64歳で10%台となっている。

(5) 飲酒・喫煙の習慣

ア 飲酒の状況

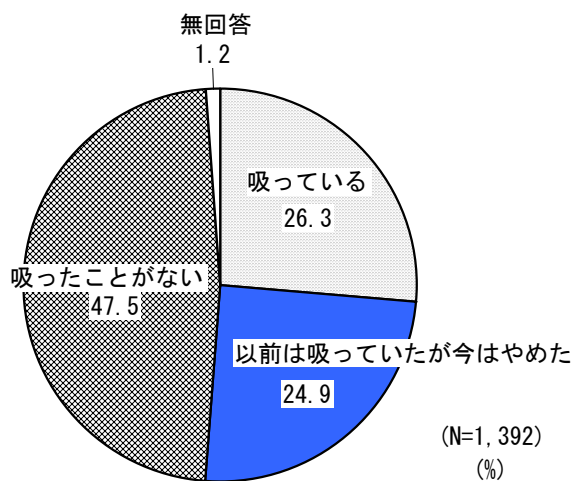
図 4-14 飲酒の状況



週1回以上の飲酒習慣のある人は42.9%であり、「ほとんど毎日飲む」が28.9%となっている。

イ 喫煙の状況

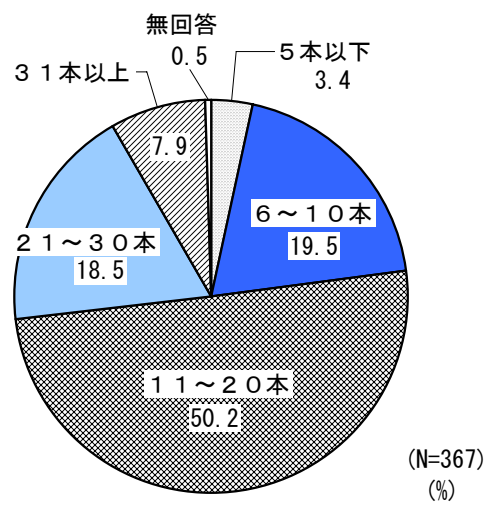
図 4-15 喫煙の状況



現在、喫煙習慣がある人は全体の26.3%であり、「以前吸っていたが今はやめた」(24.9%)を含めると51.2%を占めている。

ウ 1日の喫煙本数

図 4-16 1日の喫煙本数

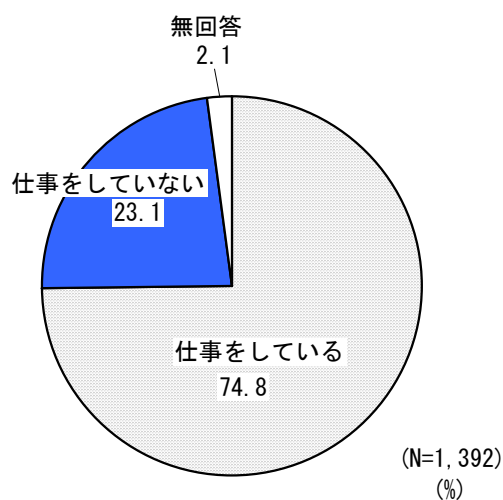


1日の喫煙本数をみると、「11~20本」が50.2%と多くなっている。

(6) 就労状況

ア 就労の有無

図 4-17 就労の有無



現在、就労している人は74.8%、就労していない人は23.1%となっている。

表 4-10 性・年齢別 就労の有無

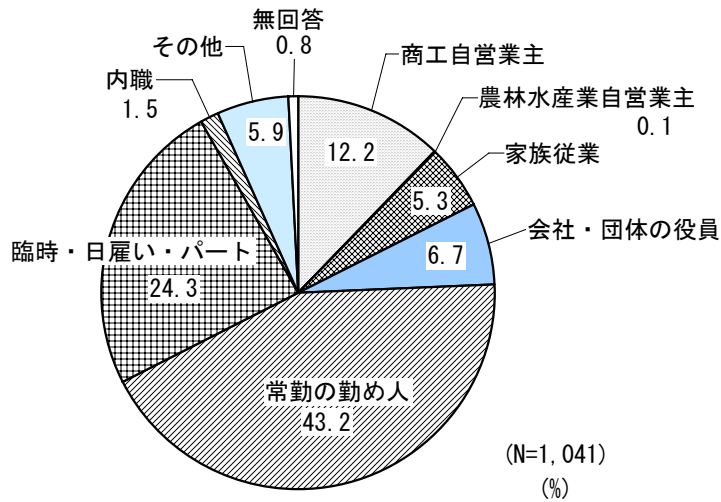
(%)

	調査数 (N)	働いている	働いていない	無回答
男性 (全体)	623	88.4	9.6	2.0
男性 40～44歳	125	94.8	5.2	-
45～49歳	102	92.4	5.9	1.7
50～54歳	107	94.1	4.2	1.7
55～59歳	148	90.2	6.5	3.3
60～64歳	141	73.5	23.5	3.0
女性 (全体)	767	63.7	34.2	2.1
女性 40～44歳	142	63.6	36.4	-
45～49歳	143	76.5	21.7	1.8
50～54歳	129	77.5	20.4	2.1
55～59歳	192	54.7	42.8	2.5
60～64歳	161	52.1	44.2	3.7
無回答	3	100.0	-	-
合計	1392	74.8	23.1	2.1

就労について性・年齢別にみると、いずれの年齢層も女性より男性のほうが就労している人の割合が高くなっている。

イ 就労形態

図 4-18 就労形態



就労している場合の形態は、「常勤の勤め人」が43.2%と最も多く、次いで「臨時・日雇い・パート」(24.3%)、「商工自営業主」(12.2%)となっている。

表 4-11 性・年齢別 就労形態

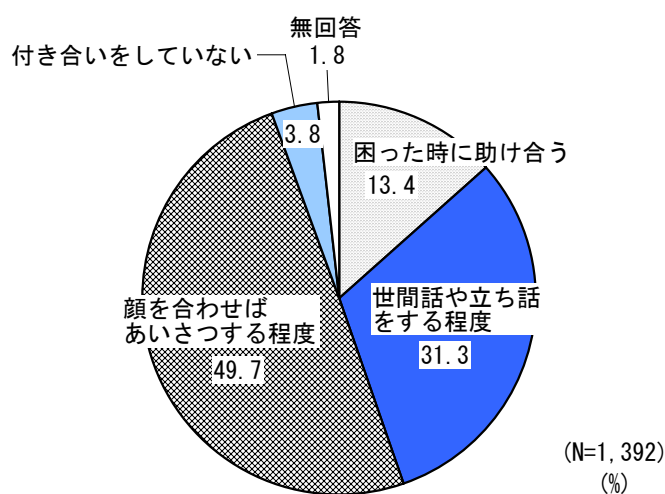
	調査数 (N)	商工自営業主	農林水産業自営業主	家族従業	会社・団体の役員	常勤の勤め人	臨時・日雇い・パート	内職	その他	無回答
男性 (全体)	551	18.2	0.2	1.6	9.4	57.2	6.4	0.4	5.4	1.4
男性 40～44歳	119	14.1	-	2.2	7.6	62.0	4.3	-	7.6	2.2
男性 45～49歳	94	12.8	-	0.9	8.3	70.6	3.7	-	2.8	0.9
男性 50～54歳	100	11.7	-	0.9	11.7	64.0	4.5	-	7.2	-
男性 55～59歳	134	21.6	-	-	13.5	49.5	6.3	0.9	5.4	2.7
男性 60～64歳	103	29.5	0.8	4.1	4.9	42.6	13.1	0.8	3.3	0.8
女性 (全体)	488	5.6	-	9.6	3.6	27.5	44.4	2.7	6.5	0.2
女性 40～44歳	90	2.9	-	10.0	4.3	38.6	35.7	2.9	5.7	-
女性 45～49歳	109	3.9	-	3.1	3.1	30.7	48.8	2.4	7.1	0.8
女性 50～54歳	100	3.6	-	8.2	3.6	30.0	46.4	4.5	3.6	-
女性 55～59歳	105	10.3	-	11.5	2.3	23.0	46.0	2.3	4.6	-
女性 60～64歳	84	7.1	-	17.2	5.1	14.1	43.4	1.0	12.1	-
無回答	3	-	-	-	-	33.5	33.5	33.0	-	-
合計	1041	12.2	0.1	5.3	6.7	43.2	24.3	1.5	5.9	0.8

就労している場合の形態を性別にみると、「商工自営業主」は女性(5.6%)より男性(18.2%)のほうが12.6ポイント高く、「常勤の勤め人」も女性(27.5%)より男性(57.2%)のほうが29.7ポイント高いが、「臨時・日雇い・パート」は男性(6.4%)より女性(44.4%)のほうが38ポイント高くなっている。性・年齢別にみると、「常勤の勤め人」は男性の45～49歳(70.6%)で最も高く、40～54歳で過半数を占めている。女性の「臨時・日雇い・パート」は45～49歳で最も高く、45歳以上で4割台となっている。

(7) 近所付き合いと社会参加・生きがい活動の状況

ア 近所付き合いの程度

図 4-19 近所付き合いの程度



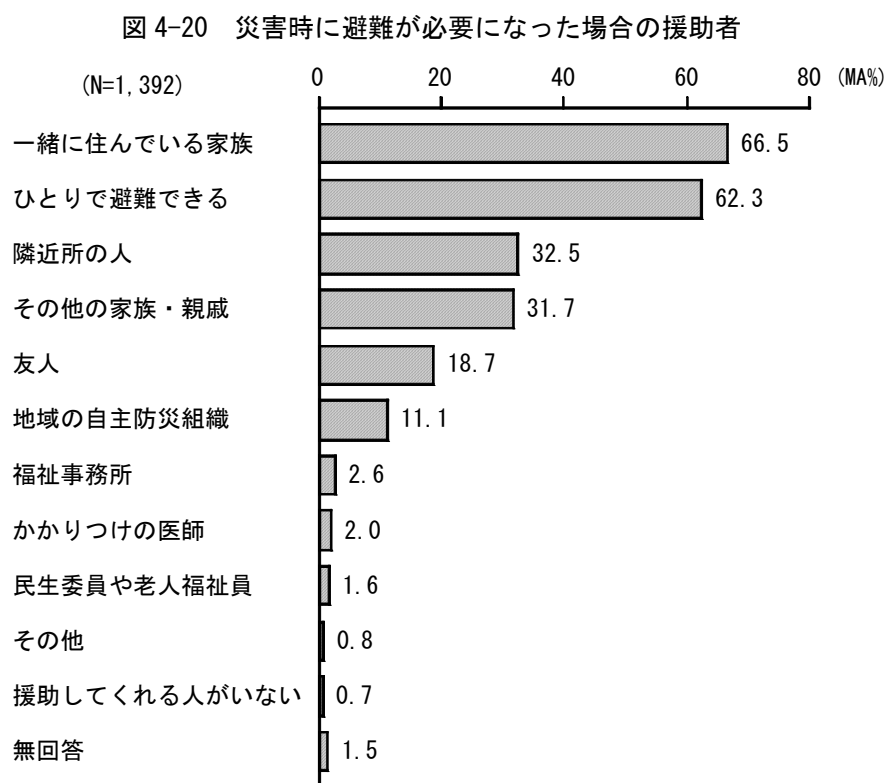
近所付き合いの程度をみると、「顔を合わせばあいさつする程度」が49.7%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(31.3%)、「困った時に助け合う」(13.4%)の順となっている。

表 4-12 性・年齢別 近所付き合いの程度

	調査数 (N)	困った時に助け合う	世間話や立ち話をする程度	顔を合わせばあいさつする程度	付き合いをしていない	無回答
男性 (全体)	623	9.6	20.6	62.7	5.2	1.9
男性 40～44歳	125	11.3	14.4	66.0	8.2	-
45～49歳	102	9.3	14.4	68.6	5.9	1.7
50～54歳	107	11.0	17.8	65.3	5.1	0.8
55～59歳	148	7.3	25.2	58.5	4.9	4.1
60～64歳	141	9.6	27.7	57.8	2.4	2.4
女性 (全体)	767	16.5	39.9	39.1	2.7	1.7
女性 40～44歳	142	16.4	40.9	38.2	4.5	-
45～49歳	143	12.7	34.3	49.4	1.8	1.8
50～54歳	129	10.6	35.9	48.6	2.1	2.8
55～59歳	192	20.1	43.4	30.8	3.8	1.9
60～64歳	161	20.5	43.2	33.2	1.1	2.1
無回答	3	-	66.5	33.5	-	-
合計	1392	13.4	31.3	49.7	3.8	1.8

近所付き合いの程度を性別にみると、「困った時に助け合う」や「世間話や立ち話をする程度」は男性より女性のほうが高くなっている。性・年齢別にみると、男性の50～54歳のみ「困った時に助け合う」の割合が女性より高いが、それ以外では男性よりも女性のほうが割合が高くなっている。

イ 災害時に避難が必要になった場合の援助者



災害時に避難が必要になった場合の援助者については、「一緒に住んでいる家族」が66.5%で最も多く、次いで「ひとりで避難できる」が62.3%、「隣近所の人」が32.5%、「その他の家族・親戚」が31.7%となっている。

表 4-13 性・年齢別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

(MA%)

	調査数 (N)	一緒に住んでいる家族	ひとりで避難できる	隣近所の人	その他の家族・親戚	友人	地域の自主防災組織	福祉事務所	かかりつけの医師	民生委員や老人福祉員	その他	な援助してくる人がい	無回答
男性 (全体)	623	55.2	71.7	29.5	25.1	15.1	9.1	2.3	1.9	1.3	1.0	0.8	1.6
男性 40～44歳	125	59.8	69.1	28.9	29.9	20.6	8.2	2.1	3.1	-	1.0	1.0	-
45～49歳	102	47.5	74.6	31.4	21.2	13.6	6.8	0.8	0.8	-	2.5	0.8	1.7
50～54歳	107	56.8	67.8	36.4	32.2	19.5	9.3	2.5	2.5	1.7	-	-	0.8
55～59歳	148	52.0	74.8	22.0	23.6	13.0	7.3	1.6	1.6	2.4	0.8	0.8	3.3
60～64歳	141	59.0	71.7	31.3	19.9	10.2	13.3	4.2	1.2	1.8	0.6	1.2	1.8
女性 (全体)	767	75.5	54.7	34.8	37.1	21.6	12.7	2.7	2.0	1.8	0.7	0.5	1.5
女性 40～44歳	142	74.5	47.3	30.9	47.3	28.2	9.1	2.7	1.8	1.8	-	0.9	-
45～49歳	143	76.5	54.8	36.7	37.3	26.5	9.6	2.4	0.6	-	0.6	0.6	1.8
50～54歳	129	74.6	53.5	33.1	38.7	23.9	14.1	2.8	2.1	1.4	0.7	-	2.1
55～59歳	192	75.5	57.9	33.3	30.8	13.8	17.0	1.9	1.9	1.9	1.3	0.6	1.9
60～64歳	161	76.3	58.4	39.5	34.2	18.9	12.6	3.7	3.7	3.7	0.5	0.5	1.6
無回答	3	100.0	67.0	66.5	33.5	33.5	-	33.5	33.5	-	-	-	-
合計	1392	66.5	62.3	32.5	31.7	18.7	11.1	2.6	2.0	1.6	0.8	0.7	1.5

災害時に避難が必要になった場合の援助者を性別にみると、男性は「ひとりで避難できる」(71.7%)が、女性は「一緒に住んでいる家族」(75.5%)が最も多く、それぞれ2割程度の差が開いている。性・年齢別にみると、「ひとりで避難できる」は男性の45～49歳、55歳以上で70%台となっており、「一緒に住んでいる家族」は女性のいずれの年齢層も70%台となっている。

表 4-14 近所付き合いの程度別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

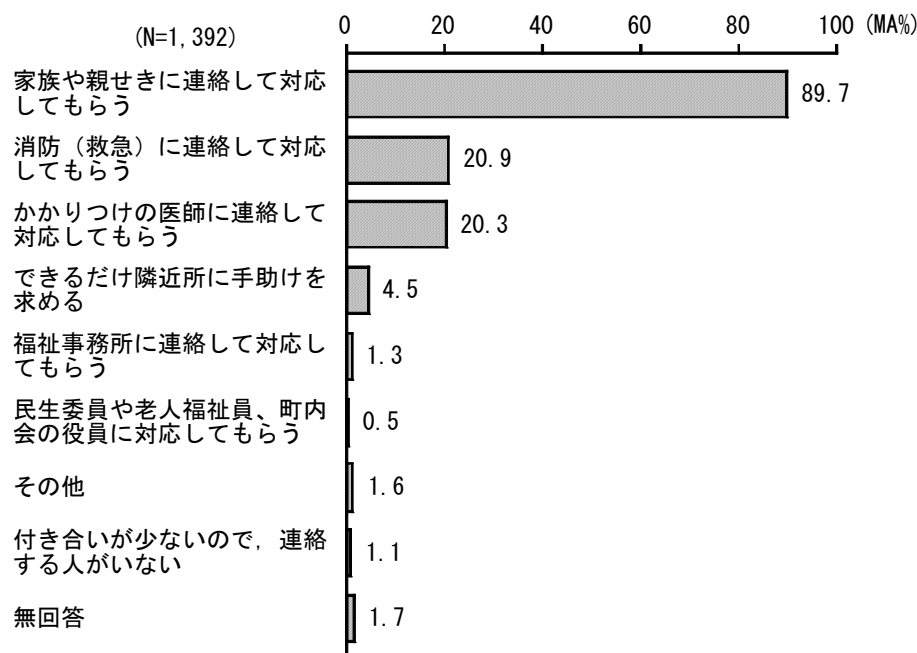
(MA%)

	調査数 (N)	一緒に住んでいる家族	ひとりで避難できる	隣近所の人	その他の家族・親戚	友人	地域の自主防災組織	福祉事務所	かかりつけの医師	民生委員や老人福祉員	その他	な援助してくる人がい	無回答
困った時に助け合う	186	73.4	64.1	61.7	37.3	35.3	20.2	1.4	6.0	2.6	1.2	-	-
世間話や立ち話をする程度	436	76.6	60.9	45.2	35.7	20.8	14.6	2.8	2.6	2.0	0.4	-	-
顔を合わせばあいさつする程度	691	62.5	64.7	20.1	30.3	14.6	7.3	2.7	0.8	1.2	1.0	0.9	-
付き合いをしていない	53	42.2	63.0	-	12.2	4.9	4.1	2.4	-	-	-	5.6	-
無回答	25	3.4	8.1	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	-	-	-	-	84.9
合計	1392	66.5	62.3	32.5	31.7	18.7	11.1	2.6	2.0	1.6	0.8	0.7	1.5

災害時に避難が必要になった場合の援助者を近所付き合いの程度別にみると、近隣との関係が親密な人ほど「隣近所の人」の割合が高い。付き合いをしていない人は家族や近隣関係は低く、「ひとりで避難できる」の割合が高い。

ウ 急病時の対処方法

図 4-21 急病時の対処方法



急病時の対処方法については、「家族や親せきに連絡して対応してもらう」が89.7%で圧倒的に多くなっている。次いで「消防（救急）に連絡して対応してもらう」が20.9%、「かかりつけの医師に連絡して対応してもらう」が20.3%となっている。

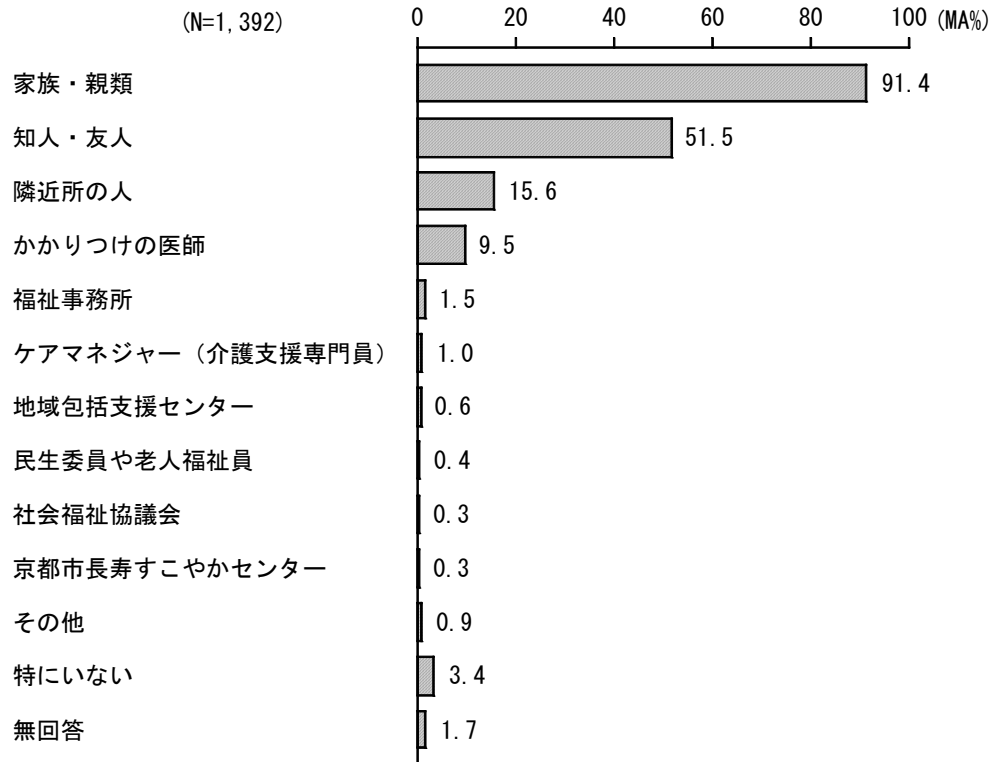
表 4-15 性・年齢別 急病時の対処方法

	調査数 (N)	家族や親せきに連絡して対応してもらう	消防（救急）に連絡して対応してもらう	かかりつけの医師に連絡して対応してもらう	できるだけ隣近所に手助けを求める	福祉事務所に連絡して対応してもらう	民生委員や老人福祉員、町内会役員に対応してもらう	その他	付き合いが少ない人がいない	無回答
男性（全体）	623	86.5	23.0	18.8	3.0	1.2	0.3	2.0	1.3	1.7
男性 40～44歳	125	92.8	19.6	9.3	3.1	1.0	-	3.1	-	-
45～49歳	102	86.4	15.3	16.1	0.8	-	-	1.7	1.7	2.5
50～54歳	107	89.0	19.5	18.6	2.5	0.8	-	1.7	1.7	0.8
55～59歳	148	83.7	23.6	17.9	2.4	0.8	0.8	3.3	0.8	3.3
60～64歳	141	81.9	33.7	30.1	5.4	3.0	0.6	-	2.4	1.8
女性（全体）	767	92.2	19.1	21.4	5.8	1.3	0.7	1.3	1.0	1.6
女性 40～44歳	142	98.2	9.1	9.1	2.7	-	0.9	0.9	1.8	-
45～49歳	143	91.6	15.7	13.3	6.0	1.2	-	3.0	1.2	2.4
50～54歳	129	93.7	15.5	18.3	4.9	0.7	-	0.7	1.4	2.1
55～59歳	192	90.6	23.3	27.7	4.4	2.5	0.6	0.6	0.6	1.9
60～64歳	161	88.4	28.9	34.7	10.5	1.6	1.6	1.6	-	1.6
無回答	3	100.0	33.5	33.0	-	-	-	-	-	-
合計	1392	89.7	20.9	20.3	4.5	1.3	0.5	1.6	1.1	1.7

急病時の対処方法を性別にみると、男女とも「家族や親せきに連絡して対応してもらう」が圧倒的に多く、男性（86.5%）より女性（92.2%）のほうが5.7ポイント高くなっている。性・年齢別にみても、いずれの年齢層も男性より女性のほうが高い割合となっている。また「かかりつけの医師に連絡して対応してもらう」は男女とも60～64歳で30%台を占めている。

エ 相談相手

図 4-22 相談相手



相談相手については、「家族・親類」が91.4%で圧倒的に多くなっている。それ以外では、「知人・友人」が51.5%、「隣近所の人」が15.6%、「かかりつけの医師」が9.5%となっている。

表 4-17 性・年齢別 相談相手

	調査数 (N)	(MA%)												
		家族・親類	知人・友人	隣近所の人	かかりつけの医師	福祉事務所	ケアマネジャー（介護支援専門員）	地域包括支援センター	民生委員や老人福祉員	京都市長寿すこやかセンター	社会福祉協議会	その他	特にいない	無回答
男性（全体）	623	89.7	43.2	9.9	9.9	1.9	0.8	0.5	-	0.1	0.1	1.5	5.3	1.7
男性 40～44歳	125	92.8	58.8	12.4	6.2	1.0	1.0	1.0	-	-	-	4.1	5.2	-
男性 45～49歳	102	87.3	51.7	8.5	6.8	-	0.8	0.8	-	-	-	0.8	8.5	2.5
男性 50～54歳	107	93.2	41.5	7.6	8.5	0.8	-	-	-	-	-	-	3.4	0.8
男性 55～59歳	148	86.2	35.0	5.7	9.8	2.4	0.8	-	-	-	-	1.6	4.1	3.3
男性 60～64歳	141	89.8	33.1	15.1	16.9	4.2	1.2	0.6	-	0.6	0.6	0.6	6.0	1.8
女性（全体）	767	92.8	58.1	20.1	9.1	1.3	1.1	0.6	0.7	0.5	0.4	0.5	1.8	1.7
女性 40～44歳	142	96.4	61.8	18.2	5.5	2.7	0.9	1.8	0.9	1.8	1.8	-	1.8	-
女性 45～49歳	143	91.0	65.1	17.5	5.4	-	1.8	-	-	-	-	0.6	3.0	1.8
女性 50～54歳	129	93.0	61.3	16.2	8.5	0.7	1.4	0.7	-	-	-	0.7	2.1	2.8
女性 55～59歳	192	90.6	55.3	20.8	10.7	1.3	0.6	0.6	0.6	0.6	-	0.6	1.9	1.9
女性 60～64歳	161	93.7	49.5	26.3	14.2	1.6	1.1	-	1.6	-	0.5	0.5	0.5	2.1
無回答	3	100.0	66.5	33.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1392	91.4	51.5	15.6	9.5	1.5	1.0	0.6	0.4	0.3	0.3	0.9	3.4	1.7

相談相手について性別にみると、「家族・親類」「知人・友人」「隣近所の人」などは男性よ

り女性のほうが高く、性・年齢別でも同様であり、特に「隣近所の人」では女性のいずれの年齢層も10～20%台を占めており、男性との差が大きくなっている。

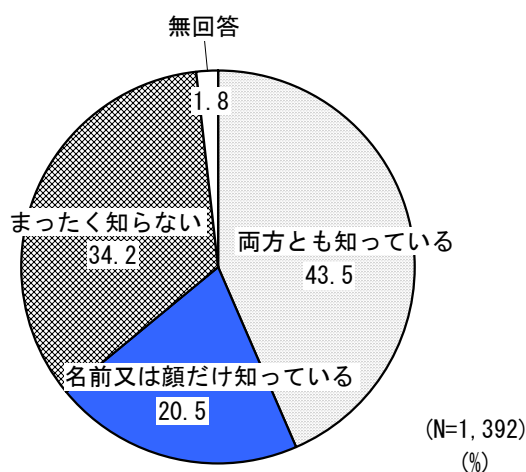
表 4-18 近所付き合いの程度別 相談相手

	調査数 (N)	家族・親類	知人・友人	隣近所の人	かかりつけの医師	福祉事務所	ケアマネジャー(介護支援専門員)	地域包括支援センター	民生委員や老人福祉員	京都市長寿すこやかセンター	社会福祉協議会	その他	特になし	無回答
困った時に助け合う	186	98.2	71.7	51.9	15.4	0.5	1.0	0.6	-	-	-	1.2	-	-
世間話や立ち話をする程度	436	95.0	58.3	19.5	11.4	1.2	0.9	-	0.7	0.5	0.2	1.0	1.7	-
顔を合わせばあいさつする程度	691	92.1	44.6	4.9	7.2	1.9	0.9	0.8	0.3	0.4	0.5	0.8	4.1	0.2
付き合いをしていない	53	67.9	35.1	-	4.7	4.7	4.1	2.4	-	-	-	2.4	22.4	-
無回答	25	11.5	6.7	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	88.5
合計	1392	91.4	51.5	15.6	9.5	1.5	1.0	0.6	0.4	0.3	0.3	0.9	3.4	1.7

近所付き合いの程度別にみると、いずれも「家族・親類」が最も多く、「知人・友人」「隣近所の人」は近隣との関係が親密な人ほど高い割合となっている。一方、「特になし」は近所の人と付き合いをしていない人で22.4%と多くなっている。

オ 地域の町内会長の認知状況

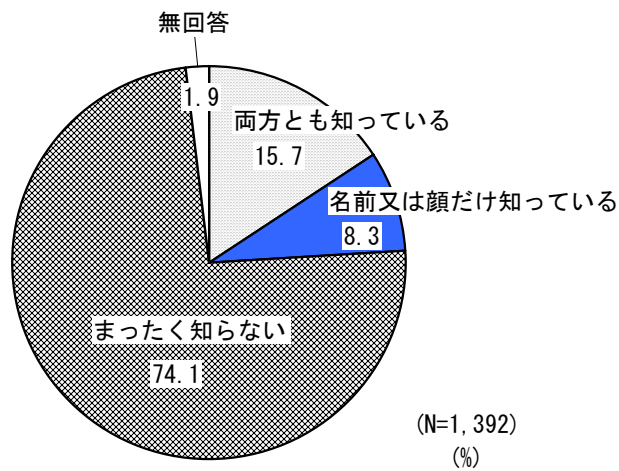
図 4-23 地域の町内会長の名前及び顔の認知状況



地域の町内会長（自治会長）の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」が最も多く43.5%で、「名前又は顔だけ知っている」は20.5%となっている。

カ 地域の民生委員の認知状況

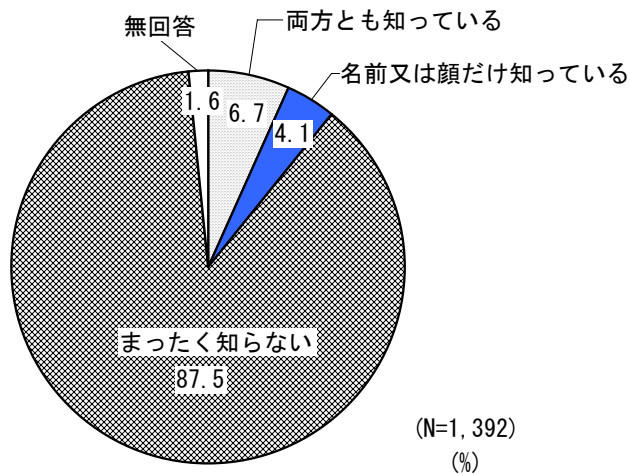
図 4-24 地域の民生委員の名前及び顔の認知状況



地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は15.7%、「名前又は顔だけ知っている」は8.3%となっている。

キ 地域の老人福祉員の認知状況

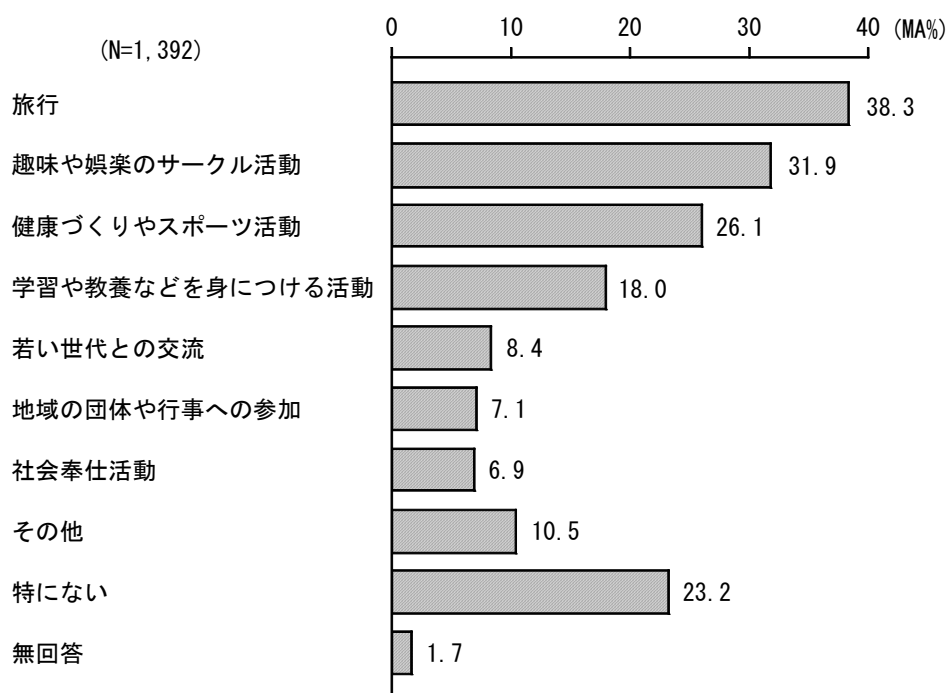
図 4-25 地域の老人福祉員の名前及び顔の認知状況



地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は6.7%、「名前又は顔だけ知っている」は4.1%となっている。

(9) 生きがいを感じる活動

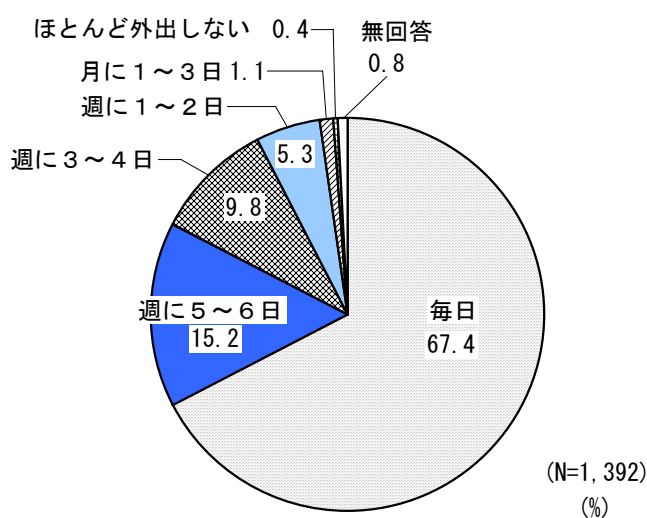
図 4-26 生きがいを感じる活動



現在生きがいを感じる活動は、「旅行」が38.3%と最も多く、次いで「趣味や娯楽のサークル活動」(31.9%)、「健康づくりやスポーツ活動」(26.1%)、「学習や教養などを身につける活動」(18.0%)などとなっている。

(10) 外出の頻度

図 4-27 外出の頻度



外出する頻度をみると、「毎日」が67.4%を占め、「週に5~6日」(15.2%)を合わせると80%を超える。

表 4-19 性・年齢別 外出の頻度

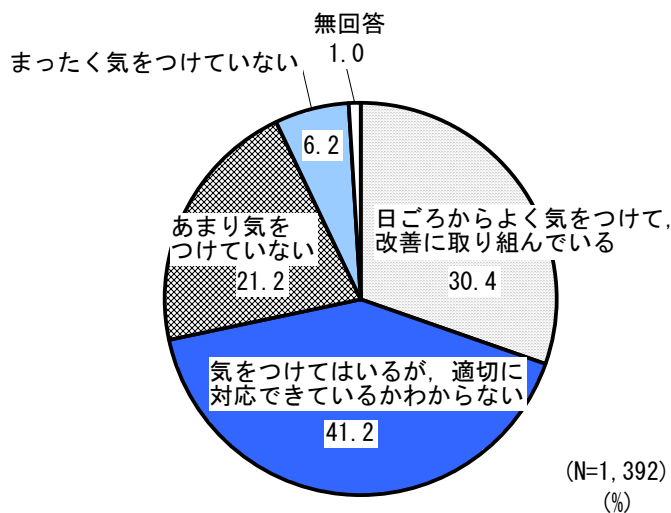
		(%)						
	調査数 (N)	毎日	週に5~6日	週に3~4日	週に1~2日	月に1~3日	ほとんど外出しない	無回答
男性 (全体)	623	72.4	11.9	5.6	6.8	2.0	0.8	0.5
男性 40~44歳	125	74.2	12.4	3.1	8.2	1.0	1.0	-
45~49歳	102	75.4	12.7	2.5	5.1	3.4	0.8	-
50~54歳	107	83.9	7.6	1.7	5.1	0.8	-	0.8
55~59歳	148	67.5	13.8	8.9	6.5	1.6	0.8	0.8
60~64歳	141	65.1	12.0	9.6	8.4	3.0	1.2	0.6
女性 (全体)	767	63.5	17.8	13.2	4.0	0.4	0.1	1.0
女性 40~44歳	142	70.0	17.3	10.9	1.8	-	-	-
45~49歳	143	69.9	18.7	5.4	3.6	-	0.6	1.8
50~54歳	129	71.8	14.1	9.2	3.5	-	-	1.4
55~59歳	192	54.7	16.4	20.8	5.0	1.3	-	1.9
60~64歳	161	55.8	22.1	16.3	5.3	0.5	-	-
無回答	3	33.5	33.0	-	33.5	-	-	-
合計	1392	67.4	15.2	9.8	5.3	1.1	0.4	0.8

外出する頻度を性・年齢別にみると、「毎日」はいずれの年齢層も女性より男性のほうが割合が高く、一方で「週に5~6日」は男性より女性のほうが高くなっている。

3 介護予防と介護のあり方について

(1) 心身の変化に対する意識

図 4-28 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の71.6%であり、「改善に取り組んでいる」人は30.4%となっている。

表 4-20 心身の変化への対応・改善の有無〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	て、日ごろから改善に取り組んでいる	ない気をつけてはいるが、適切	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	無回答
今回調査 (平成19年)	1392	30.4	41.2	21.2	6.2	1.0
前回調査 (平成16年)	1361	23.7	37.5	28.9	6.5	3.3

(%)

前回調査と比較すると、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は前回 (61.2%) よりも10.4ポイント高くなっている。

表 4-21 性・年齢別 心身の変化への対応・改善の有無

(%)

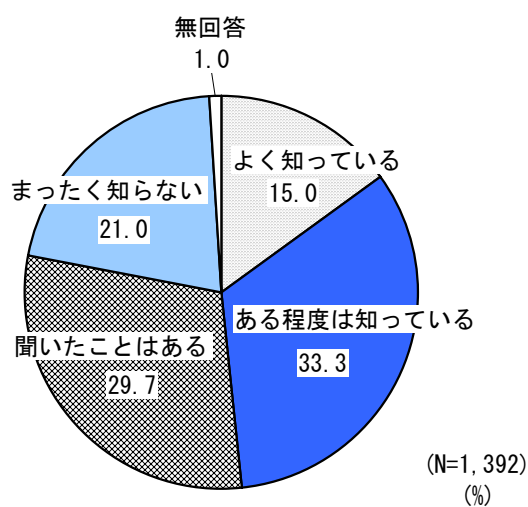
	調査数 (N)	て、日 ご ろ か ら よ く 組 ん で つ け る	な い に 対 応 で き て は い る か わ か ら な い	あ ま り 気 を つ け て い な い	ま っ た く 気 を つ け て い な い	無 回 答
男性 (全体)	623	28.2	39.2	24.7	7.2	0.7
男性 40～44歳	125	21.6	38.1	33.0	7.2	-
45～49歳	102	25.4	36.4	28.0	10.2	-
50～54歳	107	28.0	41.5	22.0	7.6	0.8
55～59歳	148	27.6	39.8	24.4	6.5	1.6
60～64歳	141	36.7	39.8	17.5	5.4	0.6
女性 (全体)	767	32.2	42.9	18.2	5.4	1.3
女性 40～44歳	142	32.7	33.6	24.5	9.1	-
45～49歳	143	19.9	48.8	21.7	7.8	1.8
50～54歳	129	28.9	46.5	17.6	4.9	2.1
55～59歳	192	36.5	44.0	13.8	3.1	2.5
60～64歳	161	40.0	41.6	15.3	3.2	-
無回答	3	33.5	-	66.5	-	-
合計	1392	30.4	41.2	21.2	6.2	1.0

心身の変化への対応・改善の有無を性・年齢別にみると、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は、男女とも60～64歳で最も高く、年齢の上昇とともに心身の変化に留意する人の割合が上昇する傾向がある。そのうち、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」も男性及び女性の60～64歳（男性36.7%、女性40.0%）で最も高くなっている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 介護予防の認知状況

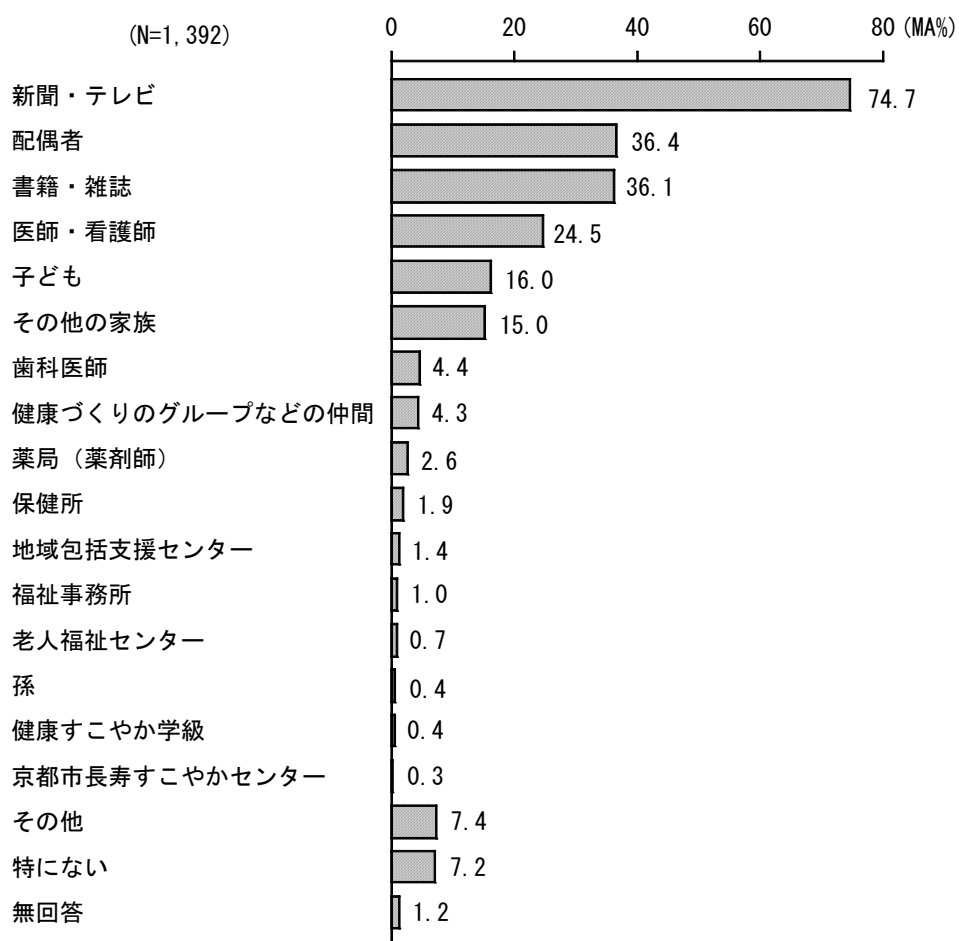
図 4-29 介護予防の認知状況



介護予防について『知っている（計）』（「よく知っている」に「ある程度は知っている」を加えた割合）と答えた人は48.3%となっている。

イ 介護予防等に関する情報の入手方法

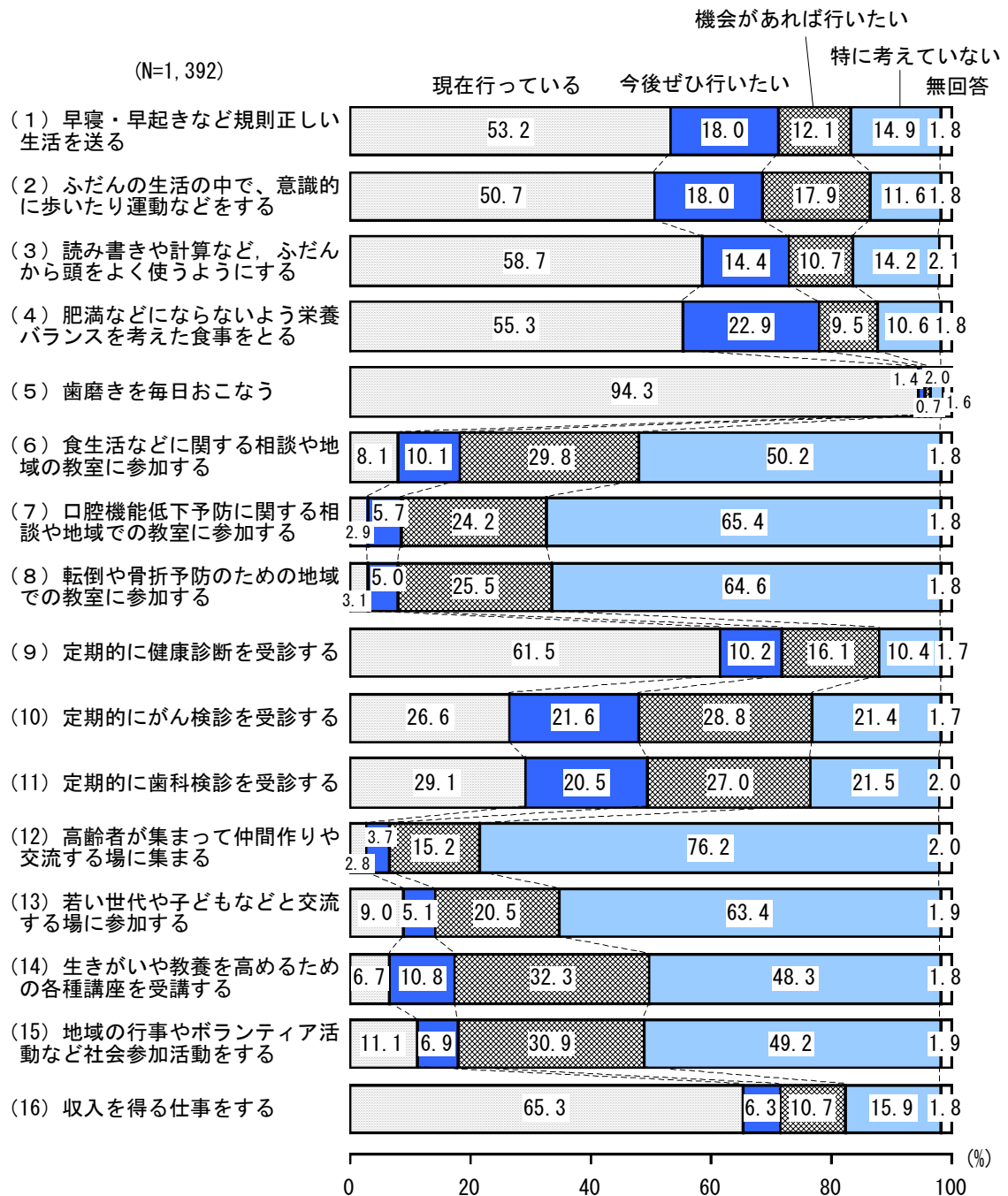
図 4-30 介護予防等に関する情報の入手方法



介護予防等に関する情報の入手方法は、「新聞・テレビ」が74.7%と圧倒的に多く、次いで「配偶者」(36.4%)、「書籍・雑誌」(36.1%)、「医師・看護師」(24.5%)の順で多くなっている。

ウ 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え

図 4-31 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、『歯磨きを毎日おこなう』が94.3%と最も多く、次いで『収入を得る仕事をする』(65.3%)、『定期的に健康診断を受診する』(61.5%)、『読み書きや計算など、ふだんから頭を使うようにする』(58.7%) などとなっている。

今後の取組への考えをみると、意向(「今後ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合)の高い活動は、『定期的ながん検診を受診する』(50.4%)、『定期的に歯科検診を受診する』(47.5%)、『生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』(43.1%)、『食生活などに関する相談や地域の教室に参加する』(39.9%) などである。

表 4-22 性・年齢別 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え①

(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る

(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする

(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	623	48.9	16.8	13.3	19.3	1.7
男性 40～44歳	125	40.2	16.5	22.7	20.6	-
45～49歳	102	47.5	16.1	15.3	20.3	0.8
50～54歳	107	50.8	27.1	5.9	14.4	1.7
55～59歳	148	48.0	14.6	13.8	21.1	2.4
60～64歳	141	57.2	12.0	8.4	19.3	3.0
女性 (全体)	767	56.6	19.0	11.2	11.3	1.9
女性 40～44歳	142	61.8	20.9	10.9	6.4	-
45～49歳	143	51.8	23.5	13.9	9.0	1.8
50～54歳	129	58.5	16.9	12.0	10.6	2.1
55～59歳	192	55.3	17.0	10.7	15.1	1.9
60～64歳	161	56.3	17.4	8.9	13.7	3.7
無回答	3	100.0	-	-	-	-
合計	1392	53.2	18.0	12.1	14.9	1.8

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	49.6	16.5	17.1	14.8	2.0
男性 40～44歳	49.5	12.4	21.6	16.5	-
45～49歳	44.9	21.2	16.9	16.1	0.8
50～54歳	50.0	23.7	14.4	10.2	1.7
55～59歳	45.5	17.1	17.9	17.1	2.4
60～64歳	57.2	10.8	14.5	13.3	4.2
女性 (全体)	51.8	19.2	18.2	9.1	1.6
女性 40～44歳	41.8	26.4	21.8	10.0	-
45～49歳	48.2	25.9	15.1	9.6	1.2
50～54歳	45.1	21.1	24.6	7.7	1.4
55～59歳	59.1	11.9	17.0	9.4	2.5
60～64歳	60.5	14.2	14.2	8.4	2.6
無回答	-	-	100.0	-	-
合計	50.7	18.0	17.9	11.6	1.8

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	56.7	12.6	10.3	18.2	2.2
男性 40～44歳	51.5	15.5	12.4	19.6	1.0
45～49歳	55.1	14.4	10.2	19.5	0.8
50～54歳	61.0	11.0	10.2	15.3	2.5
55～59歳	58.5	12.2	8.9	17.9	2.4
60～64歳	57.2	10.2	10.2	18.7	3.6
女性 (全体)	60.2	15.9	10.9	10.9	2.0
女性 40～44歳	60.0	19.1	10.9	10.0	-
45～49歳	56.0	16.3	11.4	13.9	2.4
50～54歳	57.0	17.6	12.7	10.6	2.1
55～59歳	62.3	15.7	8.8	11.3	1.9
60～64歳	64.2	11.6	11.6	8.9	3.7
無回答	67.0	-	33.0	-	-
合計	58.7	14.4	10.7	14.2	2.1

(4) 肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる

(5) 歯磨きを毎日おこなう

(6) 食生活などに関する相談や地域の教室に参加する (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	623	47.6	25.1	11.4	14.3	1.7
男性 40～44歳	125	46.4	26.8	12.4	14.4	-
45～49歳	102	34.7	32.2	17.8	14.4	0.8
50～54歳	107	46.6	35.6	9.3	6.8	1.7
55～59歳	148	51.2	19.5	9.8	17.1	2.4
60～64歳	141	54.8	16.3	9.0	16.9	3.0
女性 (全体)	767	61.7	21.0	8.0	7.6	1.7
女性 40～44歳	142	60.9	29.1	5.5	4.5	-
45～49歳	143	54.2	26.5	10.2	7.8	1.2
50～54歳	129	62.0	21.1	9.2	4.9	2.8
55～59歳	192	64.8	17.0	6.9	9.4	1.9
60～64歳	161	65.3	13.7	8.4	10.0	2.6
無回答	3	33.5	33.5	-	-	33.0
合計	1392	55.3	22.9	9.5	10.6	1.8

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	90.4	2.3	1.5	4.1	1.7
男性 40～44歳	95.9	1.0	1.0	2.1	-
45～49歳	89.0	1.7	2.5	5.9	0.8
50～54歳	94.9	-	0.8	2.5	1.7
55～59歳	85.4	4.1	2.4	5.7	2.4
60～64歳	88.6	3.6	0.6	4.2	3.0
女性 (全体)	97.5	0.8	-	0.3	1.5
女性 40～44歳	99.1	0.9	-	-	-
45～49歳	98.2	0.6	-	-	1.2
50～54歳	97.2	1.4	-	-	1.4
55～59歳	96.9	0.6	-	0.6	1.9
60～64歳	96.3	0.5	-	0.5	2.6
無回答	100.0	-	-	-	-
合計	94.3	1.4	0.7	2.0	1.6

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	7.3	7.6	26.2	56.8	2.0
男性 40～44歳	6.2	6.2	22.7	63.9	1.0
45～49歳	6.8	9.3	24.6	58.5	0.8
50～54歳	6.8	11.9	34.7	44.9	1.7
55～59歳	9.8	6.5	21.1	60.2	2.4
60～64歳	6.6	5.4	29.5	54.8	3.6
女性 (全体)	8.7	12.0	32.8	44.9	1.7
女性 40～44歳	16.4	13.6	30.0	40.0	-
45～49歳	6.0	12.0	35.5	45.2	1.2
50～54歳	5.6	10.6	33.8	47.9	2.1
55～59歳	6.3	10.7	30.8	49.7	2.5
60～64歳	9.5	13.2	34.2	41.1	2.1
無回答	33.5	33.0	-	33.5	-
合計	8.1	10.1	29.8	50.2	1.8

(7) 口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する

(8) 転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する

(9) 定期的に健康診断を受診する (%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	623	3.1	3.7	18.8	72.4	2.0
男性 40～44歳	125	4.1	1.0	16.5	78.4	-
45～49歳	102	5.1	2.5	18.6	72.9	0.8
50～54歳	107	2.5	4.2	27.1	63.6	2.5
55～59歳	148	3.3	6.5	11.4	76.4	2.4
60～64歳	141	1.2	3.6	22.3	69.3	3.6
女性 (全体)	767	2.8	7.3	28.6	59.8	1.6
女性 40～44歳	142	3.6	6.4	27.3	62.7	-
45～49歳	143	2.4	5.4	29.5	61.4	1.2
50～54歳	129	1.4	4.9	28.9	63.4	1.4
55～59歳	192	2.5	9.4	25.2	60.4	2.5
60～64歳	161	3.7	8.9	32.6	52.1	2.6
無回答	3	-	-	66.5	33.5	-
合計	1392	2.9	5.7	24.2	65.4	1.8

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	2.7	4.2	18.4	72.9	1.8
男性 40～44歳	2.1	1.0	16.5	80.4	-
45～49歳	3.4	2.5	16.9	76.3	0.8
50～54歳	0.8	5.1	22.0	70.3	1.7
55～59歳	3.3	4.9	17.1	72.4	2.4
60～64歳	3.6	6.6	19.9	66.3	3.6
女性 (全体)	3.4	5.8	31.0	58.1	1.6
女性 40～44歳	2.7	4.5	24.5	68.2	-
45～49歳	2.4	3.0	31.3	62.0	1.2
50～54歳	1.4	7.0	29.6	60.6	1.4
55～59歳	5.0	5.7	29.6	57.9	1.9
60～64歳	4.7	8.4	39.5	44.2	3.2
無回答	-	-	67.0	-	33.0
合計	3.1	5.0	25.5	64.6	1.8

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	65.9	7.4	14.4	10.5	1.8
男性 40～44歳	63.9	8.2	18.6	9.3	-
45～49歳	68.6	11.9	11.9	6.8	0.8
50～54歳	73.7	8.5	12.7	3.4	1.7
55～59歳	59.3	4.1	15.4	18.7	2.4
60～64歳	66.9	6.0	12.7	10.8	3.6
女性 (全体)	57.8	12.6	17.6	10.4	1.6
女性 40～44歳	48.2	23.6	20.9	7.3	-
45～49歳	57.8	15.1	19.9	5.4	1.8
50～54歳	62.0	9.2	18.3	9.2	1.4
55～59歳	54.1	10.1	17.0	16.4	2.5
60～64歳	67.4	6.3	12.6	11.6	2.1
無回答	100.0	-	-	-	-
合計	61.5	10.2	16.1	10.4	1.7

表 4-22 性・年齢別 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え②

(10) 定期的ながん検診を受診する

(11) 定期的に歯科検診を受診する

(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に集まる

(%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	623	22.4	20.7	30.3	24.8	1.8
男性 40～44歳	125	11.3	29.9	37.1	21.6	-
45～49歳	102	23.7	25.4	30.5	19.5	0.8
50～54歳	107	24.6	23.7	29.7	20.3	1.7
55～59歳	148	24.4	12.2	30.1	30.9	2.4
60～64歳	141	27.7	15.7	24.7	28.3	3.6
女性 (全体)	767	30.0	22.1	27.6	18.7	1.6
女性 40～44歳	142	26.4	31.8	30.0	11.8	-
45～49歳	143	36.1	24.7	27.7	10.2	1.2
50～54歳	129	31.0	21.8	31.0	14.8	1.4
55～59歳	192	27.0	16.4	27.0	27.0	2.5
60～64歳	161	30.5	18.4	23.2	25.3	2.6
無回答	3	-	66.5	33.5	-	-
合計	1392	26.6	21.6	28.8	21.4	1.7

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	25.5	17.4	27.6	27.6	1.9
	22.7	14.4	39.2	23.7	-
	22.9	25.4	31.4	19.5	0.8
	28.8	20.3	24.6	24.6	1.7
	23.6	16.3	21.1	35.8	3.3
	29.5	13.3	23.5	30.7	3.0
	32.0	22.9	26.5	16.6	2.0
	30.0	29.1	28.2	12.7	-
	24.7	34.9	29.5	9.6	1.2
	30.3	19.7	34.5	13.4	2.1
	30.8	15.1	23.9	27.0	3.1
	43.2	18.4	18.9	16.3	3.2
	-	66.5	33.5	-	-
	29.1	20.5	27.0	21.5	2.0

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	1.7	2.8	13.5	80.1	1.8
	-	2.1	9.3	88.7	-
	1.7	3.4	11.0	83.1	0.8
	0.8	0.8	16.9	78.8	2.5
	3.3	4.9	9.8	79.7	2.4
	2.4	2.4	20.5	71.7	3.0
	3.8	4.4	16.6	73.1	2.1
	3.6	2.7	10.0	82.7	0.9
	3.0	6.6	18.7	70.5	1.2
	2.1	2.1	20.4	73.2	2.1
	3.8	3.8	13.8	75.5	3.1
	5.8	6.3	21.1	64.2	2.6
	-	33.0	-	67.0	-
	2.8	3.7	15.2	76.2	2.0

(13) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する

(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する

(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする

(%)

	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	623	7.6	5.1	20.2	65.1	2.0
男性 40～44歳	125	8.2	4.1	19.6	68.0	-
45～49歳	102	7.6	7.6	18.6	65.3	0.8
50～54歳	107	7.6	5.1	24.6	61.0	1.7
55～59歳	148	7.3	4.1	13.8	72.4	2.4
60～64歳	141	7.2	5.4	25.3	57.8	4.2
女性 (全体)	767	10.0	5.1	20.8	62.2	1.9
女性 40～44歳	142	13.6	4.5	17.3	64.5	-
45～49歳	143	8.4	6.6	22.3	61.4	1.2
50～54歳	129	9.9	4.2	16.9	66.9	2.1
55～59歳	192	8.2	3.1	23.3	62.3	3.1
60～64歳	161	10.5	7.4	22.6	56.8	2.6
無回答	3	33.5	-	33.0	33.5	-
合計	1392	9.0	5.1	20.5	63.4	1.9

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	3.4	8.2	28.5	58.0	2.0
	2.1	6.2	29.9	61.9	-
	1.7	9.3	33.9	53.4	1.7
	3.4	9.3	31.4	53.4	2.5
	2.4	11.4	22.0	61.8	2.4
	6.6	4.8	28.3	57.2	3.0
	9.5	12.9	35.4	40.4	1.8
	9.1	13.6	34.5	42.7	-
	7.2	19.3	38.0	33.7	1.8
	7.0	16.9	39.4	35.2	1.4
	11.9	8.8	33.3	43.4	2.5
	11.1	8.4	33.2	44.7	2.6
	-	-	33.0	67.0	-
	6.7	10.8	32.3	48.3	1.8

	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
	8.8	6.4	27.3	55.7	1.8
	7.2	3.1	23.7	66.0	-
	5.9	5.9	31.4	55.9	0.8
	7.6	7.6	36.4	45.8	2.5
	9.8	8.9	17.1	61.8	2.4
	12.0	6.0	31.3	47.6	3.0
	13.0	7.4	33.9	43.8	1.9
	9.1	7.3	36.4	47.3	-
	13.3	10.2	37.3	38.0	1.2
	14.1	4.9	34.5	44.4	2.1
	15.7	4.4	33.3	44.0	2.5
	12.1	10.5	28.9	45.3	3.2
	-	-	-	100.0	-
	11.1	6.9	30.9	49.2	1.9

(16) 収入を得る仕事をする

(%)

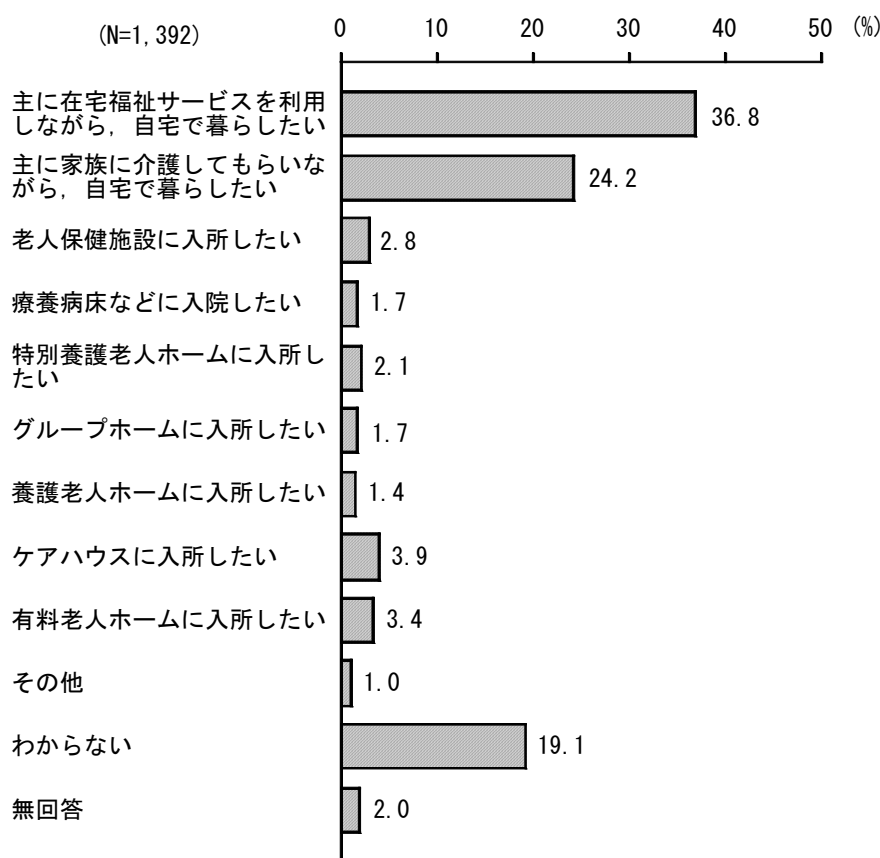
	調査数 (N)	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性 (全体)	623	75.4	5.8	6.0	10.9	1.9
男性 40～44歳	125	86.6	4.1	3.1	5.2	1.0
45～49歳	102	79.7	6.8	1.7	11.0	0.8
50～54歳	107	79.7	5.9	4.2	8.5	1.7
55～59歳	148	77.2	5.7	6.5	8.1	2.4
60～64歳	141	57.2	6.6	12.7	20.5	3.0
女性 (全体)	767	57.1	6.7	14.4	20.1	1.7
女性 40～44歳	142	60.0	15.5	13.6	10.9	-
45～49歳	143	72.3	5.4	9.6	10.8	1.8
50～54歳	129	70.4	3.5	11.3	12.7	2.1
55～59歳	192	45.9	5.0	19.5	27.7	1.9
60～64歳	161	43.7	4.7	15.8	33.2	2.6
無回答	3	67.0	-	33.0	-	-
合計	1392	65.3	6.3	10.7	15.9	1.8

病気・老化予防のために取り組んでいることを性別にみると、『口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する』や『定期的に健康診断を受診する』、『収入を得る仕事をする』以外の項目で男性より女性のほうが割合が高く、性・年齢別にみても『早寝・早起きなど規則正しい生活を送る』、『読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする』、『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』では女性のいずれの年齢層でも50%以上を占めている。

今後、取組意向の高い活動について性別にみると、『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』や『歯磨きを毎日おこなう』、『定期的ながん検診を受診する』は女性より男性のほうが高く、それ以外の項目では女性のほうが高くなっている。性・年齢別にみると、男性の40歳代と女性の40～54歳で『定期的ながん検診を受診する』、『定期的に歯科検診を受診する』の割合が高く、また、女性の45～54歳で『生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する』の割合が過半数を占めている。

(3) 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

図 4-32 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方



調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が36.8%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が24.2%となっており、合計すると全体の61%が自宅での生活を希望している。

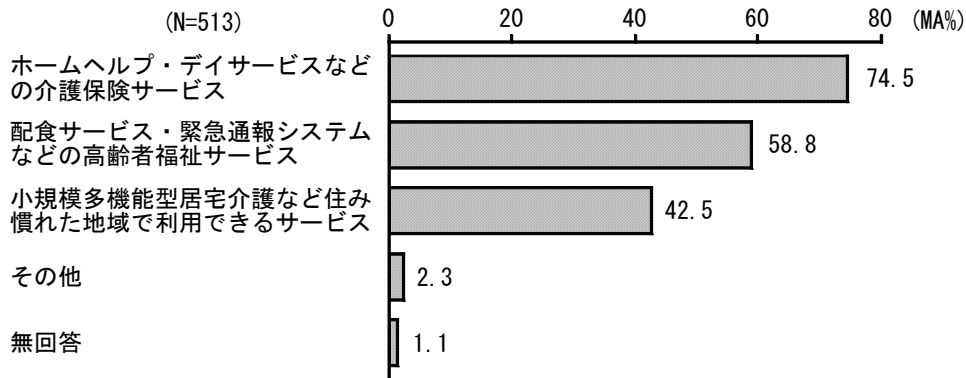
表 4-23 性・年齢別 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

	調査数 (N)	で在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	老人保健施設に入所したい	療養病床などに入院したい	特別養護老人ホームに入所したい	グループホームに入所したい	介護老人ホームに入所したい	ケアハウスに入所したい	有料老人ホームに入所したい	その他	わからない	無回答
男性 (全体)	623	31.0	33.3	2.0	1.6	1.8	0.9	1.4	2.3	2.8	1.2	19.1	2.6	
男性 40～44歳	125	30.9	28.9	1.0	3.1	1.0	1.0	1.0	-	4.1	-	28.9	-	
45～49歳	102	22.9	39.0	1.7	-	1.7	0.8	-	5.1	5.1	1.7	20.3	1.7	
50～54歳	107	33.1	30.5	2.5	3.4	0.8	-	2.5	1.7	3.4	0.8	19.5	1.7	
55～59歳	148	26.8	37.4	2.4	1.6	2.4	0.8	2.4	3.3	0.8	1.6	14.6	5.7	
60～64歳	141	39.8	30.7	2.4	-	2.4	1.8	0.6	1.8	1.8	1.8	13.9	3.0	
女性 (全体)	767	41.5	17.0	3.4	1.7	2.3	2.4	1.4	5.2	3.8	0.7	19.1	1.5	
女性 40～44歳	142	31.8	16.4	3.6	3.6	-	3.6	-	9.1	5.5	-	26.4	-	
45～49歳	143	44.0	13.3	3.0	1.8	3.0	1.8	1.8	3.6	3.6	1.2	20.5	2.4	
50～54歳	129	38.0	20.4	2.8	2.8	2.1	2.8	0.7	4.9	4.2	2.1	16.9	2.1	
55～59歳	192	44.7	16.4	3.1	-	2.5	1.9	3.1	6.3	4.4	0.6	15.1	1.9	
60～64歳	161	46.8	18.9	4.2	1.1	3.7	2.1	0.5	2.1	1.6	-	17.9	1.1	
無回答	3	67.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.0	-	
合計	1392	36.8	24.2	2.8	1.7	2.1	1.7	1.4	3.9	3.4	1.0	19.1	2.0	

調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方について性別にみると、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」は男性より女性のほうが10.5ポイント高く、逆に「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」は女性より男性のほうが16.3ポイント高くなっている。性・年齢別にみると、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」は女性の45～49歳、55歳以上で40%台であり、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」は男性の45歳以上で30%台となっている。

イ 在宅福祉サービスの利用意向

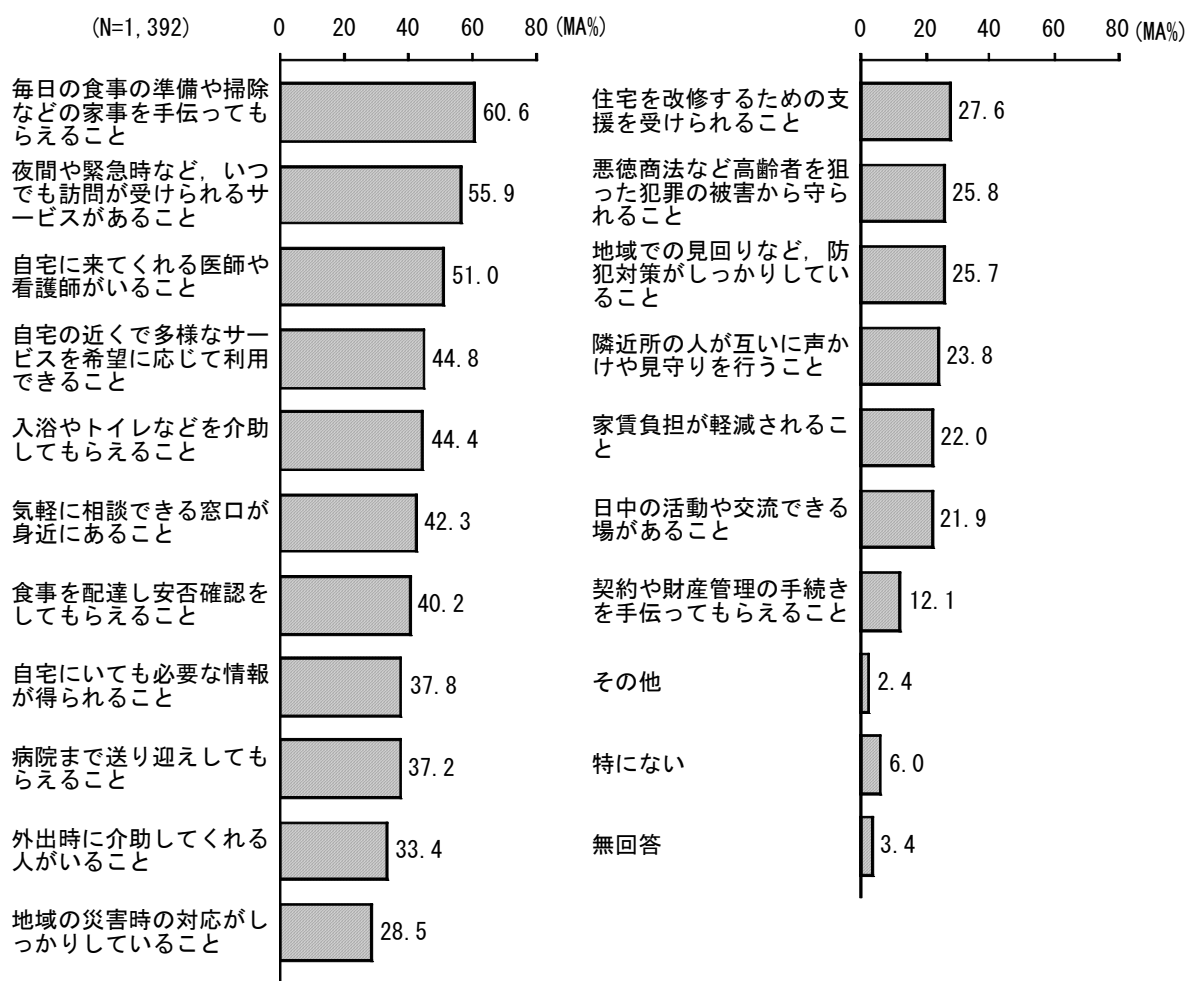
図 4-33 在宅福祉サービスの利用意向



自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合に利用したいサービスについては、「ホームヘルプ・デイサービスなどの介護保険サービス」が74.5%で最も多く、次いで「配食サービス・緊急通報システムなどの高齢者福祉サービス」(58.8%)となっている。

(4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 4-34 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が60.6%と最も多く、次いで「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」(55.9%)、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(51.0%)、「自宅の近くで多様なサービスを希望に応じて利用できること」(44.8%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(44.4%) などとなっている。

表 4-24 性・年齢別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

	調査数 (N)	(MA%)									
		除日毎つ夜や自てサ自入助が気をしを報自も病る外 もらのの日のサ間や宅利用ー宅浴して身軽に食事を宅が得ら院までら出人 らなどのの食事のサーでもやに来ての近くでもに相に配得宅にいてら院までら出人 えのの家事のビスも訪間や緊急時など、いづでも訪問が受けら るサのの家事の準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること 事があること 備や掃除などの家事を手伝ってもらえること 急時など、いつでも訪問が受けら れるサービスがあること 自宅に来てくれる医師や看護師がいること 自宅の近くで多様なサービス を希望に応じて利用できること 入浴やトイレなどを介 助してもらえること が身軽に相談できる窓 口 をし、配達し安否確認 を 報が得られること 自宅にいても必要な情 報が得られること もらえること 病院まで送り迎えして くれること 外人が いること 介助し てくれ ること									
男性 (全体)	623	57.9	49.4	48.3	37.5	40.3	34.0	36.7	35.5	32.4	27.1
男性 40～44歳	125	58.8	60.8	48.5	42.3	41.2	42.3	32.0	40.2	39.2	35.1
45～49歳	102	57.6	50.0	50.0	29.7	44.1	29.7	40.7	32.2	29.7	28.8
50～54歳	107	66.1	55.1	49.2	38.1	49.2	37.3	44.1	45.8	36.4	30.5
55～59歳	148	56.1	42.3	46.3	35.8	35.8	30.9	37.4	33.3	30.1	22.0
60～64歳	141	53.0	42.2	48.2	40.4	34.9	30.7	31.9	28.3	27.7	21.7
女性 (全体)	767	62.9	61.3	53.4	50.8	47.8	49.1	43.1	39.8	41.2	38.6
女性 40～44歳	142	65.5	59.1	50.0	53.6	51.8	40.9	40.0	43.6	36.4	40.0
45～49歳	143	66.3	66.3	51.2	59.0	56.0	57.2	52.4	39.8	44.6	44.6
50～54歳	129	59.2	55.6	50.7	45.1	43.7	52.1	43.0	36.6	38.0	36.6
55～59歳	192	63.5	65.4	59.1	51.6	45.9	49.1	42.8	40.9	45.3	41.5
60～64歳	161	60.0	58.4	53.7	44.7	42.6	46.8	37.9	37.9	40.0	30.0
無回答	3	33.5	-	-	-	-	33.0	33.5	-	-	-
合計	1392	60.6	55.9	51.0	44.8	44.4	42.3	40.2	37.8	37.2	33.4

	地域での災害時の対応が	住宅を改修するための	守られた犯罪など被害者	悪徳商法など高齢者を	防犯対策の見回りなど、	地域での見回りなど、	とかけや見守りを行うこ	隣近所の人を互いに声	かかけや見守りを行うこ	とかけや見守りを行うこ	家賃負担が軽減される	日中の活動や交流でき	きや手伝つても管理の手続	契約や財産管理の手続	その他	特にな	無回答
男性 (全体)	25.1	23.7	22.2	22.4	19.0	22.3	16.5	11.7	1.7	9.7	4.9						
男性 40～44歳	30.9	26.8	32.0	26.8	20.6	29.9	21.6	17.5	2.1	10.3	6.2						
45～49歳	17.8	18.6	22.9	19.5	20.3	23.7	16.1	11.9	1.7	12.7	4.2						
50～54歳	28.8	28.0	23.7	27.1	22.9	22.9	18.6	12.7	-	8.5	1.7						
55～59歳	22.8	25.2	20.3	20.3	17.1	20.3	13.8	8.9	3.3	7.3	4.9						
60～64歳	24.7	19.9	13.9	19.3	15.7	16.3	13.3	8.4	1.2	10.2	6.6						
女性 (全体)	31.3	30.8	28.9	28.5	27.7	21.6	26.3	12.6	3.0	3.0	2.2						
女性 40～44歳	24.5	33.6	30.9	20.9	29.1	35.5	27.3	14.5	4.5	3.6	-						
45～49歳	33.7	33.1	38.0	29.5	27.7	24.1	31.3	14.5	1.2	1.8	1.2						
50～54歳	31.7	29.6	27.5	29.6	26.8	25.4	29.6	14.8	5.6	1.4	7.0						
55～59歳	32.7	32.7	23.3	31.4	28.9	16.4	22.6	12.6	2.5	3.1	0.6						
60～64歳	33.2	24.7	26.8	30.0	25.8	10.5	22.6	7.4	1.6	4.7	3.2						
無回答	-	33.5	-	-	-	67.0	33.5	-	-	-	-						
合計	28.5	27.6	25.8	25.7	23.8	22.0	21.9	12.1	2.4	6.0	3.4						

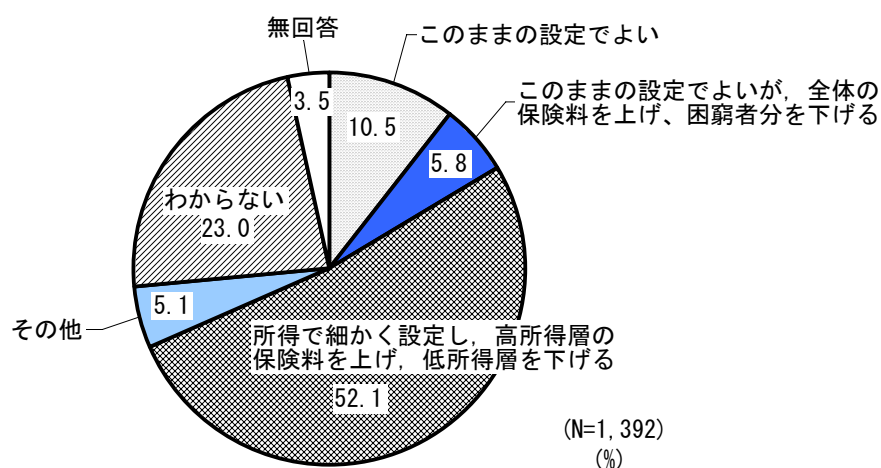
在宅生活を続けていく上で必要な支援について性別にみると、女性では「毎日の食事の準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること」、「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」、「自宅の近くで多様なサービスを希望に応じて利用できること」で過半数を占めており、男性よりも高い割合となっている。性・年齢別にみると、「毎日の食事の準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること」は、男性の50～54歳で66.1%と女性より高いほかは女性のほうが高い割合となっている。また、「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」は男性の40～44歳と女性の45～49歳、55～59歳で60%以上を占めており、男性は年齢が上がるほど割合が低くなる傾向がみられる。

4 介護保険制度について

(1) 保険料の設定および給付・負担のあり方についての意向

ア 介護保険料の設定方法について

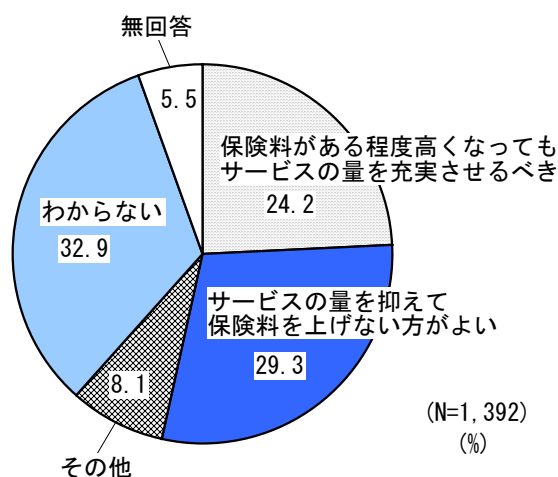
図 4-35 介護保険料の設定方法について



第1号被保険者の所得段階別保険料の設定方法については、「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が52.1%と多く、「このままの設定でよい」は10.5%、「このままの設定でよいが、全体の保険料を上げ、困窮者分を下げる」は5.8%となっている。

イ 今後の保険料のあり方について

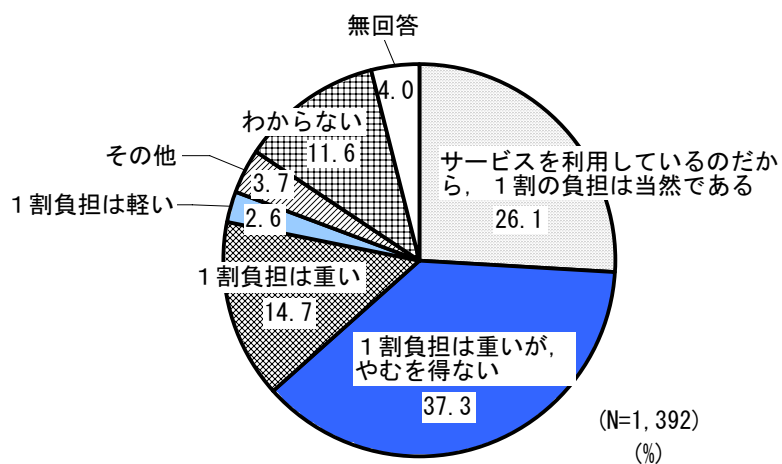
図 4-36 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」が29.3%で最も多く、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は24.2%となっている。

ウ 利用者負担について

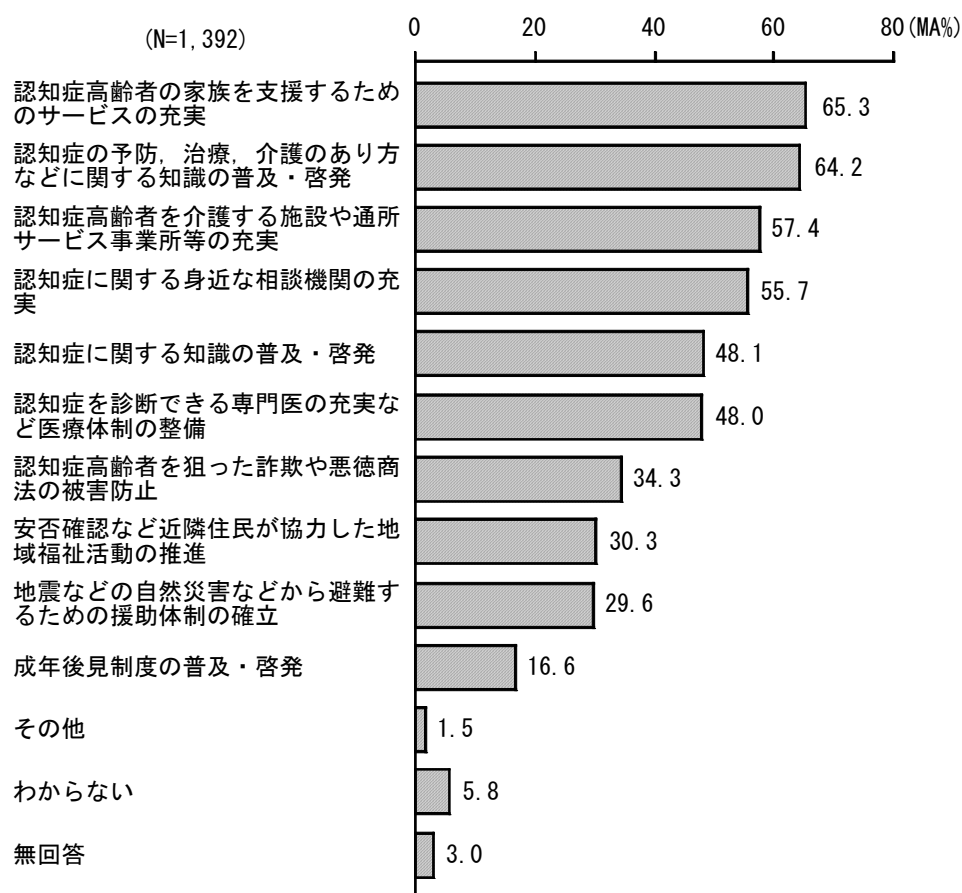
図 4-37 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担については、「1割負担は重い、やむを得ない」が37.3%と最も多く、次いで「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」(26.1%)、「1割負担は重い」(14.7%)となっている。

(2) 認知症高齢者対策で必要なこと

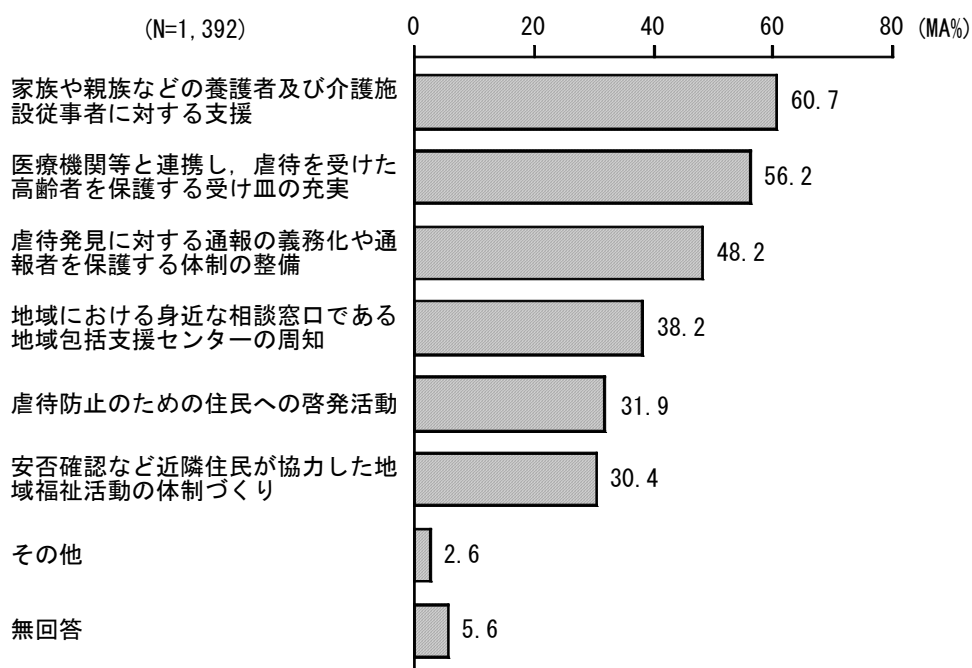
図 4-38 認知症高齢者対策で必要なこと



今後、必要だと思う認知症高齢者対策としては、「認知症高齢者の家族を支援するためのサービスの充実」が65.3%で最も多く、次いで「認知症の予防、治療、介護のあり方などに関する知識の普及・啓発」が64.2%、「認知症高齢者を介護する施設や通所サービス事業所等の充実」が57.4%、「認知症に関する身近な相談機関の充実」が55.7%となっている。

(3) 高齢者虐待防止に関する重要な取組

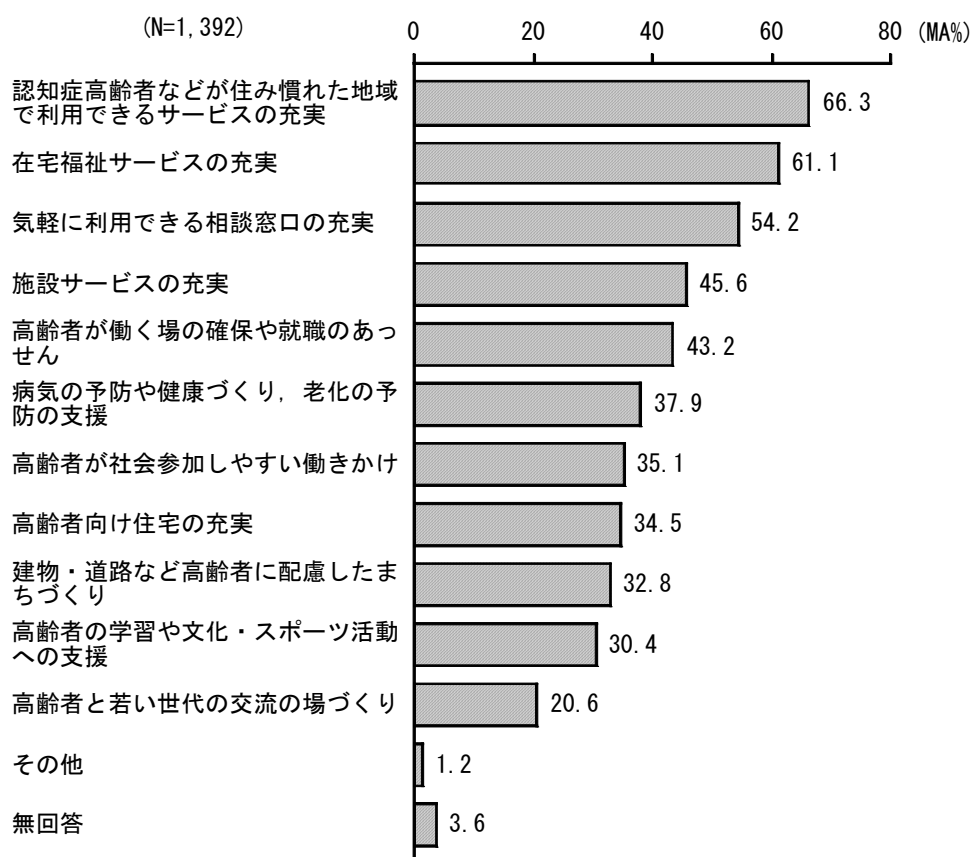
図 4-39 高齢者虐待防止に関する重要な取組



高齢者虐待防止に関する重要な取組については、「家族や親族などの養護者及び介護施設従事者に対する支援」が60.7%で最も多く、次いで「医療機関等と連携し、虐待を受けた高齢者を保護する受け皿の充実」が56.2%、「虐待発見に対する通報の義務化や通報者を保護する体制の整備」が48.2%、「地域における身近な相談窓口である地域包括支援センターの周知」が38.2%となっている。

(4) 高齢者保健福祉について充実を希望する施策

図 4-40 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「認知症高齢者などが住み慣れた地域で利用できるサービスの充実」が66.3%で最も多く、次いで「在宅福祉サービスの充実」(61.1%)、「気軽に利用できる相談窓口の充実」(54.2%)、「施設サービスの充実」(45.6%)、「高齢者が働く場の確保や就職のあっせん」(43.2%)となっている。

5 自由意見

自由意見欄には、290人（記入率20.4%）から延べ145件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

1 介護保険料の負担	28
介護保険料が高い，介護保険料を安くしてほしい（区分の見直し，減免，天引き反対等）	14
介護保険料は収入や資産に応じて徴収するべきである（高額所得者からは多く徴収等）	6
介護サービスを利用していない人の介護保険料負担を軽くしてほしい（払い戻し，減免等）	4
その他，介護保険料負担に関する意見	4
2 サービスの利用料負担	4
サービス利用料の自己負担が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用，減免等）	2
サービス利用料は，個人の資産に応じて負担額を決定するべきである	2
3 介護保険制度全般	134
介護予防や高齢者の自立，老化防止に力を入れてほしい	17
よく分からない，まだ実感がない	16
家族介護をサポートしてほしい（精神面のケアや経済面，訪問等）	15
相談窓口を充実させてほしい	12
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者の中で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	10
無駄や負担の少ない制度にしてほしい（財源の確保，税を重点的に配分する等）	10
制度の仕組みや利用方法，サービス内容，収支に関して等，情報提供を充実してほしい	10
独居老人をサポートしてほしい	9
保険料を支払った分誰もが安心してサービスを受けられるようにしてほしい	8
利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応，必要な時すぐに使える等）	7
介護保険には不満がある，制度のあり方を変えるべきである	6
ケアマネジャーの質の向上を図ってほしい	3
ポイント制の導入等，制度を改善してほしい	3
介護保険に満足している，今後期待している	1
老老介護のサポートをしてほしい	1
その他，介護保険制度全般に関する意見	6
4 要介護認定	3
要介護認定基準を変えないでほしい（要介護から要支援等）	2
要介護認定に時間がかかりすぎる	1

5 在宅サービスの充実	14
デイサービスやショートステイ等，在宅サービスを充実させてほしい	8
在宅サービスに関わる人材の育成・質の向上を図ってほしい（ヘルパー等）	3
同居家族がいてもサービスに差をつけないでほしい	2
ショートステイを希望した時すぐに使えるようにしてほしい	1

6 施設サービスの充実	40
介護保険施設，病院を充実，増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	16
施設職員や介護に携わる人材の待遇改善を図り，人材確保に努めてほしい	9
施設の入所待ちの状況を改善してほしい（必要な時即入居出来るようにしてほしい等）	2
低料金で入所（利用）できる施設を整備してほしい	2
認知症や重度の専門施設を増やしてほしい	2
その他，施設サービスの充実に関する意見	9

7 高齢者保健福祉施策について	16
高齢者保健福祉施策の充実，改善を図ってほしい	10
高齢者保健福祉施策の内容を知らない，情報提供してほしい	3
医療，医療費について	2
後期高齢者医療制度に反対である	1

8 市行政について	84
税金の無駄遣いや不正をなくし，福祉を充実させてほしい	32
本当に困っている人（世帯）を把握し，個々のケースに対応してほしい	9
民生委員，老人福祉員について	6
税負担について	5
情報提供を充実させてほしい	5
国民年金について	4
国民健康保険について	2
民間委託を増やすべきである	2
その他，市行政に関する意見	19

9 アンケートについて	19
設問内容に問題がある（設問が多い，内容が難しく理解出来ない等）	7
有効に活用してほしい	4
実施時期を考えてほしい	2
その他，アンケートに関する意見	6

10 その他の意見	74
将来に不安がある，希望が持てるようにしてほしい	16
高齢者の体力づくり，交流の場がほしい（地域の子供達との交流等）	11
高齢者が外出しやすいよう，歩道や交通の整備をしてほしい	7
高齢者の働く場やボランティアで社会参加する機会をつくってほしい	6
福祉タクシー，バスの充実	3
自身の健康に配慮している	2
その他	29